

【表紙】

| | |
|--------------------------------------|------------------------------|
| 【提出書類】 | 有価証券届出書の訂正届出書 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成28年12月19日 |
| 【発行者名】 | 三菱UFJ国際投信株式会社 |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 松田 通 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都千代田区有楽町一丁目12番1号 |
| 【事務連絡者氏名】 | 伊藤 晃 |
| 【電話番号】 | 03-6250-4740 |
| 【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 | 米国高利回り社債・ブラジル・リアルファンド（毎月決算型） |
| 【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】 | 上限1兆円 |
| 【縦覧に供する場所】 | 該当ありません |

1 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成28年6月22日付をもって提出した有価証券届出書の記載事項のうち、有価証券報告書の提出等に伴う訂正事項がありますので、これの訂正を行うものです。

2【訂正の内容】

_____部分が本訂正届出書の訂正部分を示します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

(略)

「ファンドの特色」については、＜訂正後＞の全文を記載します。

＜訂正後＞

ファンドの特色

特色 1

米ドル建の高利回り社債(ハイ・イールド債券)*1を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と債券の値上がり益の獲得を目指します。

*1 当ファンドにおいて、高利回り社債(ハイ・イールド債券)とは、原則として、格付機関による格付けがBB格相当以下の社債をいいます。以下、米ドル建の高利回り社債(ハイ・イールド債券)を「米国ハイ・イールド債券」ということがあります。なお、米国ハイ・イールド債券は、米国以外の発行企業が米ドル建で発行するものも含まれます。

◆US・ハイ・イールド・ボンド・ファンド*2(BRLクラス)への投資を通じて、主として米国ハイ・イールド債券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンドへの投資も行います。

*2 円建のケイマン籍投資信託証券で、J.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクが運用を行います。以下、US・ハイ・イールド・ボンド・ファンドを「USHYF」ということがあります。

※USHYFの主な運用方針

- 個別銘柄の投資にあたっては、S&P社またはMoody's社による格付け(両社の格付けが異なる場合は高い方の格付け)が、主としてBB格相当以下とします。なお、一部無格付けの社債に投資する場合があります。
- S&P社またはMoody's社による格付けがBBB格相当以上の投資適格社債への投資割合は、原則として純資産総額の15%以内とします。

◆投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して、相対的に利回りの高い米国ハイ・イールド債券を実質的な主要投資対象とすることで、高水準のインカムゲインの確保と債券の値上がり益の獲得を目指します。

■ハイ・イールド債券とは

■一般的に、S&P社やMoody's社などの格付機関による格付けが、BB格相当以下の相対的に格付けの低い債券をいいます。

■ハイ・イールド債券は投資適格債券に比べ、一般的に信用力が低く、デフォルト*のリスクも高くなることから、その分金利が上乘せされる傾向があります。

*デフォルト:債務不履行および支払い遅延

格付けと信用力のイメージ

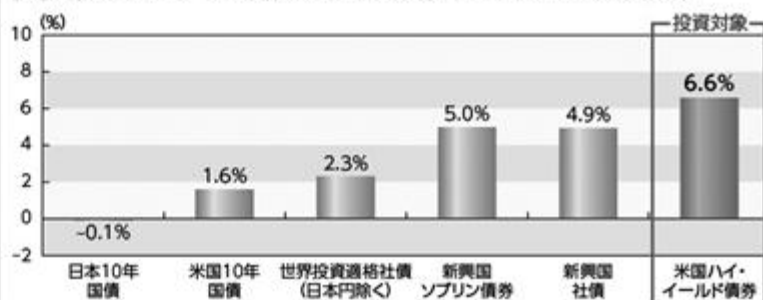
| | Moody's社 | S&P社 |
|---|----------|------|
| 低 | Aaa | AAA |
| | Aa | AA |
| | A | A |
| | Baa | BBB |
| | Ba | BB |
| | B | B |
| | Caa | CCC |
| | Ca | CC |
| | C | C |
| 高 | - | D |

↑ 投資適格債券
↑ ハイ・イールド債券

↑ 利回り
↑ 信用力

↑ 高
↑ 低

【ご参考】米国ハイ・イールド債券とその他資産の利回り比較(2016年9月末現在)



※上記は、あくまで過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。また、実際のファンドの運用および運用成果とは異なります。

※上記は、以下の指数を使用しています。世界投資適格社債(日本円除く)=ブルームバーグ・パークレイズ・グローバル総合(日本円除く)インデックス、新興国ソブリン債券=JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、新興国社債=JPモルガンCEMBIブロード・ダイバーシファイド、米国ハイ・イールド債券=BofA Merrill Lynch 米国ハイ・イールド コンストレインド インデックス

【出所】BofA Merrill Lynch, Bloomberg

*後記の「使用している指数について」を必ずご覧ください。

特色2

米ドル建資産について、原則として米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行い、為替差益の獲得を目指します。

- ◆ 当ファンドが投資を行うUSHYF (BRLクラス)では、原則として米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。

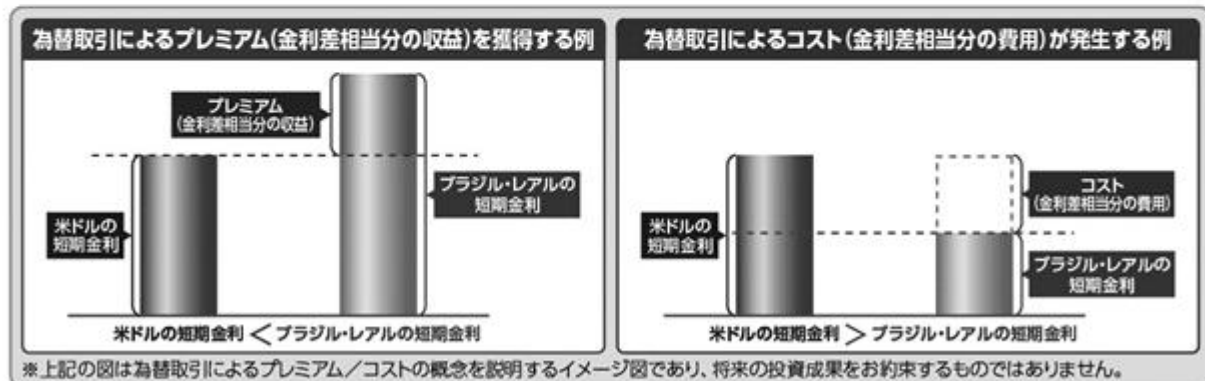
この為替取引には、外国為替予約取引および直物為替先渡取引(NDF)等を活用します。

* 直物為替先渡取引(NDF)の説明は、後記「直物為替先渡取引(NDF)について」をご参照ください。

- ◆ ブラジル・レアルの短期金利が米ドルの短期金利と比較して高い場合には、「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)」の獲得が期待できます。

※ブラジル・レアルの短期金利が、米ドルの短期金利と比較して低い場合には、「為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。

※ただし、為替市場の状況によっては、収益または費用が、金利差相当分からカイ離する場合があります。



- ◆ ブラジル・レアルが対円で上昇(円安)した場合には、為替差益を得ることができます。一方、対円で下落(円高)した場合には、為替差損が生じます。

直物為替先渡取引(NDF)について

外国為替先渡取引の一種であり、対象通貨を用いた受渡しを行わずに、主に米ドルなど主要通貨による差金決済を相対で行う取引です。

・為替取引を行う際、一部の新興国の通貨では、外国為替取引に関する規制などで機動的に為替予約取引を行えないことがあり、NDFを活用する場合があります。

・NDFは、通常の為替予約取引とは異なり、当局による規制などにより裁定が働かない場合があります。

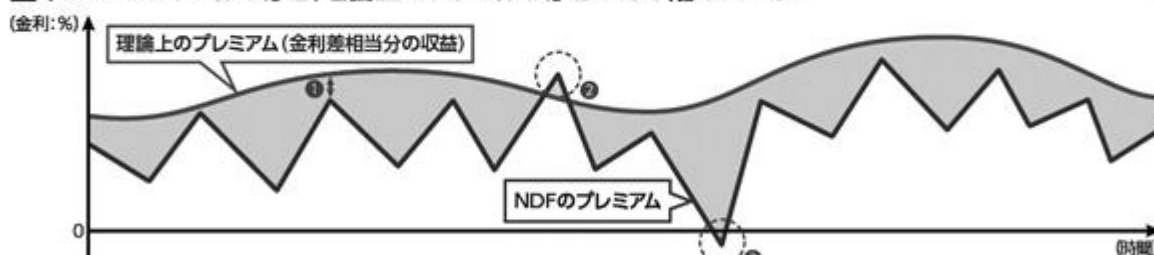
そのため、需給や当該通貨に対する期待等により、NDFのプレミアム^{*1}が、取引時点における理論上のプレミアム(金利差相当分の収益)^{*2}から大きくカイ離する場合があります。

その場合、理論上のプレミアムから減少^①(増加^②)することや、NDFのプレミアムがマイナス^③となる場合があります(費用の発生)。

*1 NDFのプレミアム=NDFを用いた為替取引によるプレミアム

*2 理論上のプレミアム=為替取引による理論上のプレミアム

■ 「NDFのプレミアム」と「理論上のプレミアム」とのカイ離イメージ



※上記は、理論上のプレミアムがある場合のイメージであり、すべての事象があてはまるとは限りません。また、将来の水準を予測、または示唆するものではありません。

※上記の要因以外でも、米ドルの短期金利が上昇した場合もしくは対象通貨の短期金利が低下した場合等には、NDFのプレミアムが減少したり、マイナスとなることがあります。

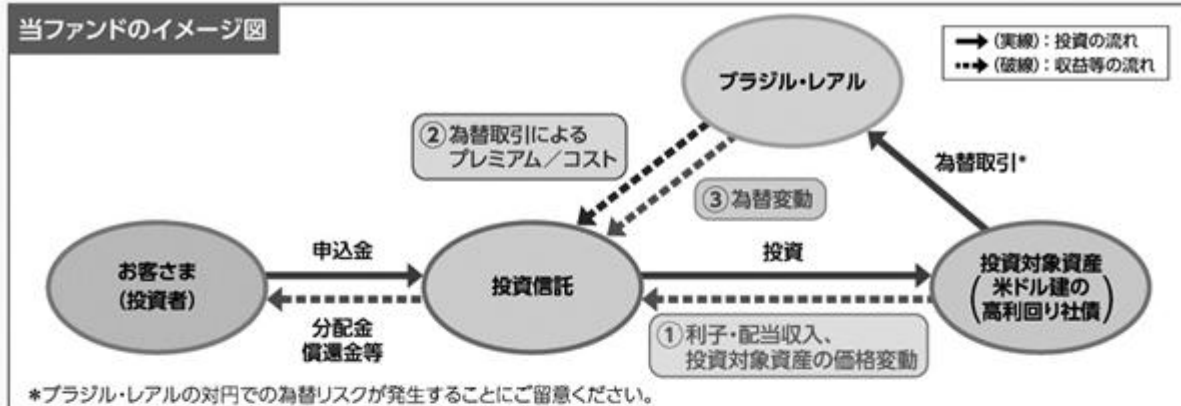
※上記は、直物為替先渡取引(NDF)や為替市場に関する説明の一部であり、直物為替先渡取引(NDF)や為替市場についてすべてを網羅したものではありません。

資金動向や市況動向、残存信託期間等の事情によっては、特色1、2のような運用ができない場合があります。

当ファンドの収益／損失に関する説明

◆当ファンドは、投資対象資産について、実質的にブラジル・レアル建となるように為替取引を行うよう設計された投資信託です。

当ファンドのイメージ図



※上記イメージ図は、当ファンドの仕組みを分かり易く表したものであり、実際には、ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。ファンド・オブ・ファンズ方式については、後記「ファンドのしくみ」をご参照ください。

◆当ファンドの収益の源泉としては、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益の源泉に相応してリスクが内在していることにご留意ください。

1. 投資対象資産による収益(上図①部分)

- 投資対象資産が値上がりした場合等には、基準価額の上昇要因となります。
- 逆に、投資対象資産が値下がりした場合には、基準価額の下落要因となります。

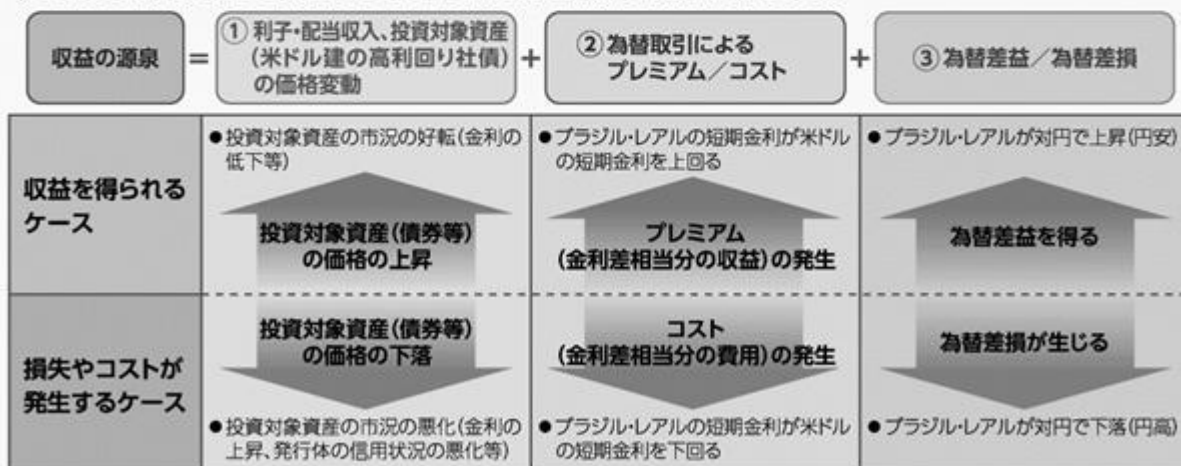
2. 為替取引によるプレミアム／コスト(上図②部分)

- 為替取引により、ブラジル・レアルの短期金利が、米ドルの短期金利よりも高い場合は、その金利差による「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)」が期待できます。
- 逆に、ブラジル・レアルの短期金利のほうが低い場合には、「為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。
- ※ただし、金利差がそのまま反映されない場合があります。

3. 為替変動による収益(上図③部分)

- 投資対象資産が実質的にブラジル・レアル建となるように為替取引を行った結果、上図③部分については、ブラジル・レアルの円に対する為替変動の影響を受けることとなります。
- ブラジル・レアルの対円レートが上昇(円安)した場合は、為替差益を得ることができます。
- 逆に、ブラジル・レアルの対円レートが下落(円高)した場合は、為替差損が生じます。

◆これまで説明しました内容についてまとめますと、以下のようになります。



(注) 為替取引を行う際、外国為替取引に関する規制などで機動的に外国為替予約取引を行えないことがあり、直物為替先渡取引(NDF)を活用する場合があります。為替取引を行う場合のプレミアム／コストは、需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは異なる場合があります。

※上記は、主な収益源の要素の説明であり、全ての要素を網羅しているものではなく、将来における運用成果を予想あるいは保証するものではありません。市場動向等によっては、上記の通りにならない場合があります。

特色 3 毎月決算を行い、収益の分配を行います。

◆ 毎月24日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。
(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

収益分配金に関する留意事項

◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



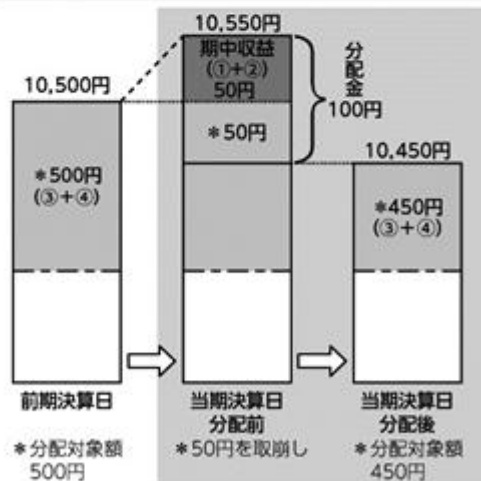
◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

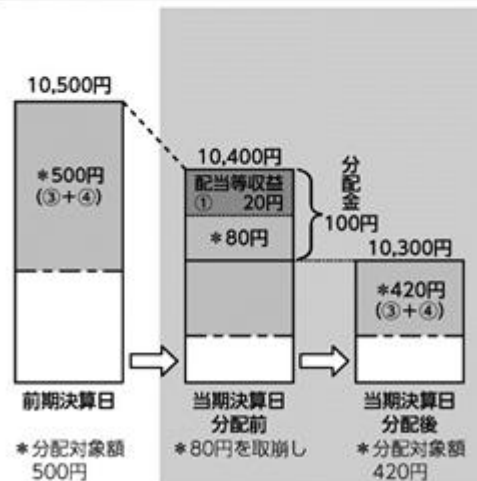
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



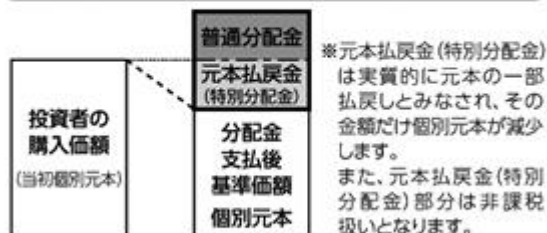
※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

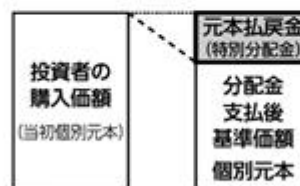
収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

◆投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

使用している指数について

●BofAメリルリンチ 米国ハイイールド コンストレインド インデックス

BofAメリルリンチ 米国ハイイールド コンストレインド インデックスとは、BofAメリルリンチ社が算出する米国のハイイールド債券の値動きを表す指数です。

出所：BofAメリルリンチ、同社の許諾を受けて使用しています。BofAメリルリンチは、BofAメリルリンチの指数を「現状有姿」で使用許諾しており、当該指数について保証を行うものではありません。BofAメリルリンチは、当該指数又は当該指数に含まれ、関連し、若しくは当該指数から派生するデータの適合性、品質、正確性、適時性及び/又は完全性を保証しておらず、かかる指数又はデータの使用に関して何ら責任を負うものではありません。また、BofAメリルリンチは、三菱UFJ国際投信又はその商品・サービスについて、援助、支援又は推奨をするものではありません。

●JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド ●JPモルガンCEMBIブロード・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の債券発行残高に応じて構成比率を調整した指数です。JPモルガンCEMBIブロード・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国社債のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の債券発行残高に応じて構成比率を調整した指数です。

J.P.モルガンの各インデックスの情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J.P.モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。各インデックスは使用許諾を得て使用しています。J.P.モルガンによる書面による事前の承諾なく各インデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。Copyright © 2016 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。

●ブルームバーグ・パークレイズ・グローバル総合(日本円除く)インデックス

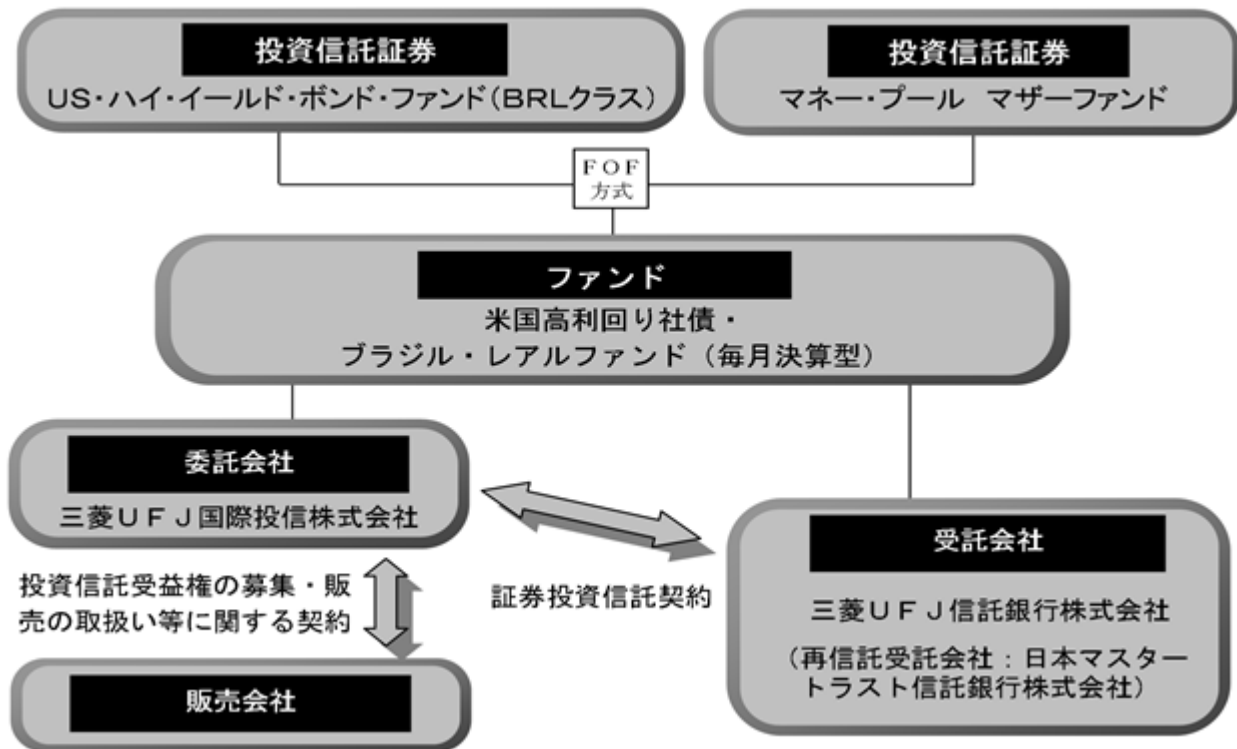
ブルームバーグ・パークレイズ・グローバル総合(日本円除く)インデックスとは、ブルームバーグが算出する世界の投資適格債券(円建てのものを除く)の値動きを表す指数です。

ブルームバーグ(BLOOMBERG)は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)の商標およびサービスマークです。パークレイズ(BARCLAYS)は、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルシー(Barclays Bank Plc)の商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックス(BLOOMBERG BARCLAYS INDICES)に対する一切の独占的権利を有しています。

(3) 【ファンドの仕組み】

<訂正前>

ファンドの仕組み



委託会社およびファンドの関係法人の名称、ファンドの運営上の役割

- a. 委託会社（三菱UFJ国際投信株式会社）
ファンドの運用指図、運用報告書の作成等を行います。
- b. 受託会社（三菱UFJ信託銀行株式会社、再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）
ファンドの財産の保管および管理等を行います。
- c. 販売会社
受益権の募集の取扱い、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、一部解約金および償還金の支払いの取扱い等を行います。

委託会社が関係法人と締結している契約の概要

- a. 証券投資信託契約（委託会社と受託会社との契約）
証券投資信託の運用の基本方針、運営方法ならびに委託会社、受託会社および受益者との権利義務関係ならびに受益権の取扱い方法等が定められています。
- b. 投資信託受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約（委託会社と販売会社との契約）
受益権の募集・販売の取扱い、一部解約事務ならびに収益分配金、一部解約金および償還金の受益者への支払いの取扱いに関する方法等が定められています。

委託会社の概況

- a. 資本金（平成28年3月末現在）
2,000百万円
- b. 沿革

| | |
|----------|--|
| 平成9年5月 | 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始 |
| 平成16年10月 | 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更 |
| 平成17年10月 | 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更 |
| 平成27年7月 | 三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を |

三菱UFJ国際投信株式会社に変更

c. 大株主の状況（平成28年3月末現在）

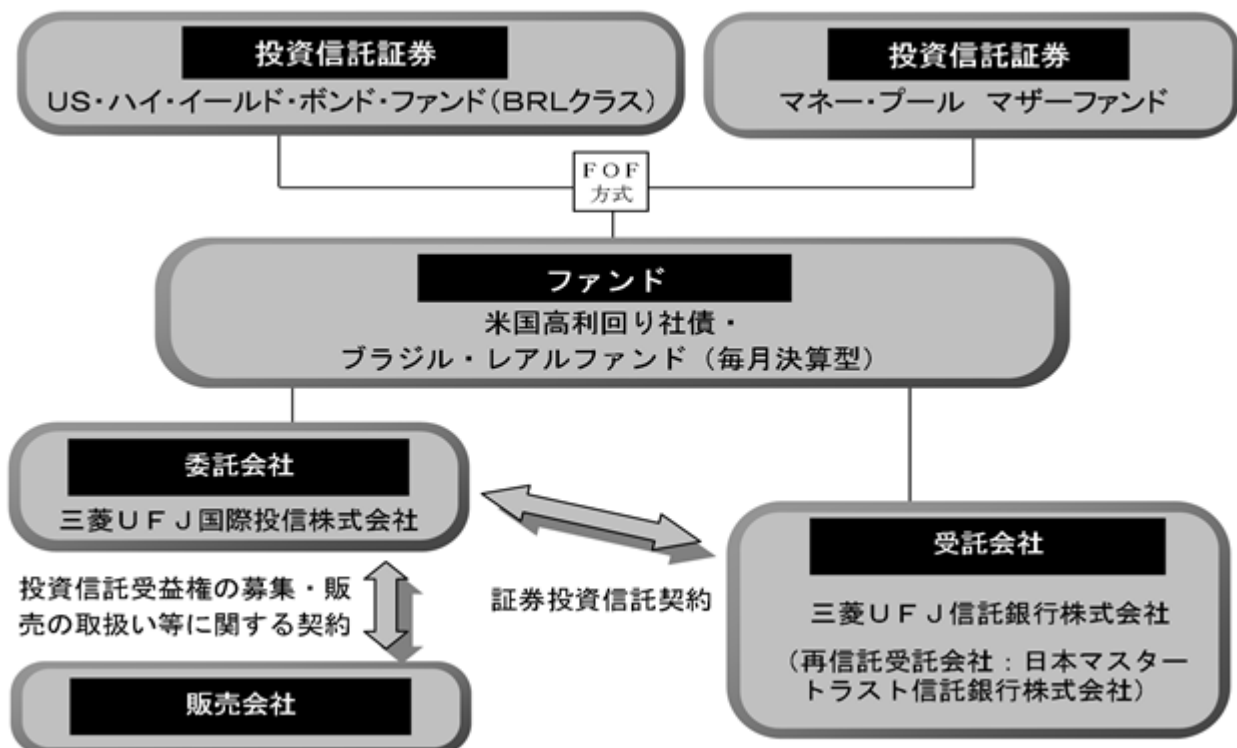
| 氏名または名称 | 住所 | 所有株式数 | 比率 |
|---------------------|-------------------|----------|--------|
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 | 107,855株 | 50.97% |
| 三菱UFJ証券ホールディングス株式会社 | 東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 | 71,969株 | 34.01% |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内二丁目7番1号 | 31,757株 | 15.00% |

d. 金融商品取引業者登録番号

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号

<訂正後>

ファンドの仕組み



委託会社およびファンドの関係法人の名称、ファンドの運営上の役割

- 委託会社（三菱UFJ国際投信株式会社）
ファンドの運用指図、運用報告書の作成等を行います。
- 受託会社（三菱UFJ信託銀行株式会社、再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）
ファンドの財産の保管および管理等を行います。
- 販売会社
受益権の募集の取扱い、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、一部解約金および償還金の支払いの取扱い等を行います。

委託会社が関係法人と締結している契約の概要

- a. 証券投資信託契約（委託会社と受託会社との契約）
証券投資信託の運用の基本方針、運営方法ならびに委託会社、受託会社および受益者との権利義務関係ならびに受益権の取扱い方法等が定められています。
- b. 投資信託受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約（委託会社と販売会社との契約）
受益権の募集・販売の取扱い、一部解約事務ならびに収益分配金、一部解約金および償還金の受益者への支払いの取扱いに関する方法等が定められています。

委託会社の概況

- a. 資本金（平成28年9月末現在）
2,000百万円
- b. 沿革
平成9年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
平成16年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
平成17年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更
平成27年7月 三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に変更
- c. 大株主の状況（平成28年9月末現在）

| 氏名または名称 | 住所 | 所有株式数 | 比率 |
|---------------------|-------------------|----------|--------|
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 | 107,855株 | 50.97% |
| 三菱UFJ証券ホールディングス株式会社 | 東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 | 71,969株 | 34.01% |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内二丁目7番1号 | 31,757株 | 15.00% |

- d. 金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号

2【投資方針】

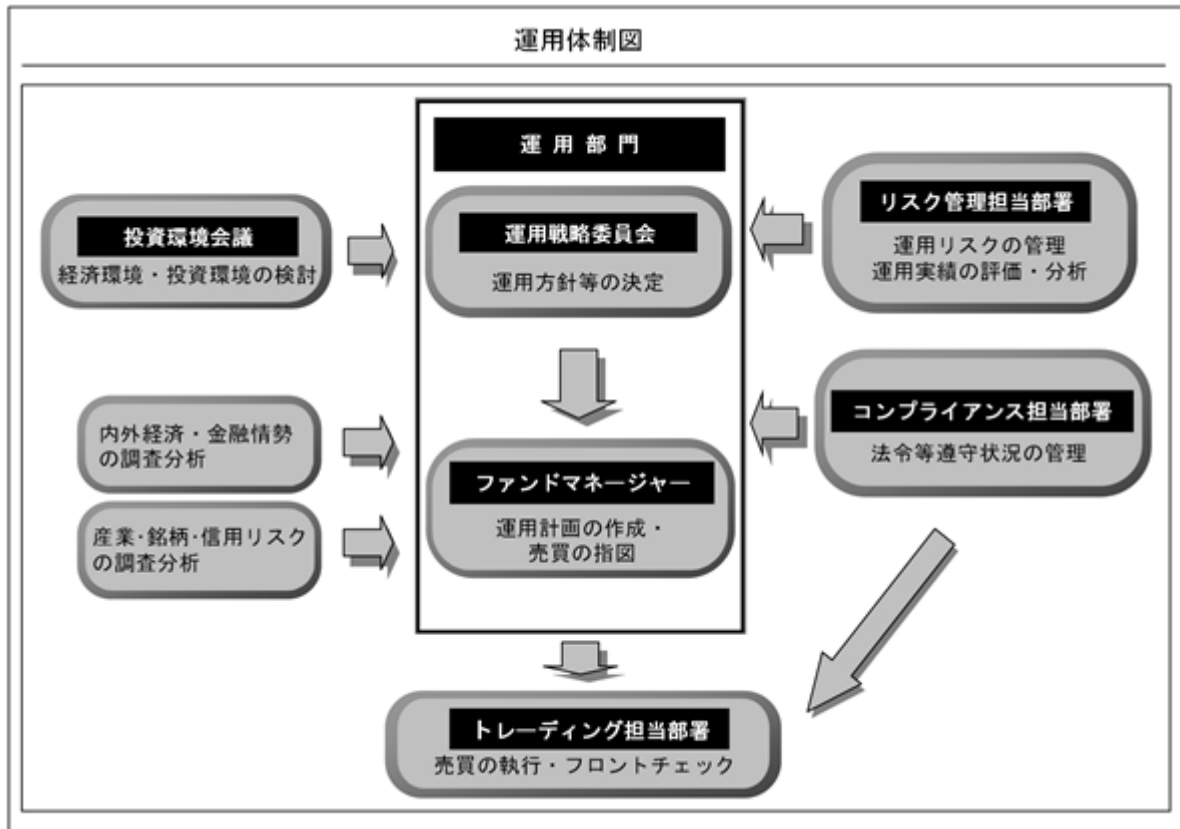
(3)【運用体制】

<訂正前>

ファンドの運用に関する主な会議および組織は次の通りです。（平成28年3月末現在）

| 会議 | 役割・機能 |
|---------|---|
| 投資環境会議 | 投資環境会議を開催し、経済環境等の長期的な構造変化や中長期的な投資環境について検討を行います。 |
| 運用戦略委員会 | 運用戦略委員会を開催し、運用方針等の決定を行います。 |

| 組織 | 役割・機能 |
|------------------|---|
| 運用部門（ファンドマネージャー） | ファンドマネージャーは運用戦略委員会にて運用方針が承認された後、運用計画を作成します。この計画に基づいて売買の指図を行い、ポートフォリオを構築します。なお、随時投資環境、投資対象ならびに資産状況について分析および検討し、ポートフォリオの見直しを行います。 |



参考

- ・ファンドの運用は、運用部門のファンドマネージャー2名程度で行います。
- ・トレーディング担当部署においては30名程度、リスク管理およびコンプライアンスの各担当部署においては総勢40～50名程度で上記業務に当たります。

運用体制に関する社内規則等は次の通りです。

委託会社は、「組織規則」において、運用方針等を決定する機関として運用戦略委員会をおこななどの運用体制を定めています。ファンドマネージャー（運用担当者）の適正な行動基準の確立のために服務規程を定めています。

関係法人に関する管理体制は次の通りです。

委託会社は、受託会社より年1回、内部統制の整備および運用状況に関する報告書を入手し、その内容の確認を行っています。

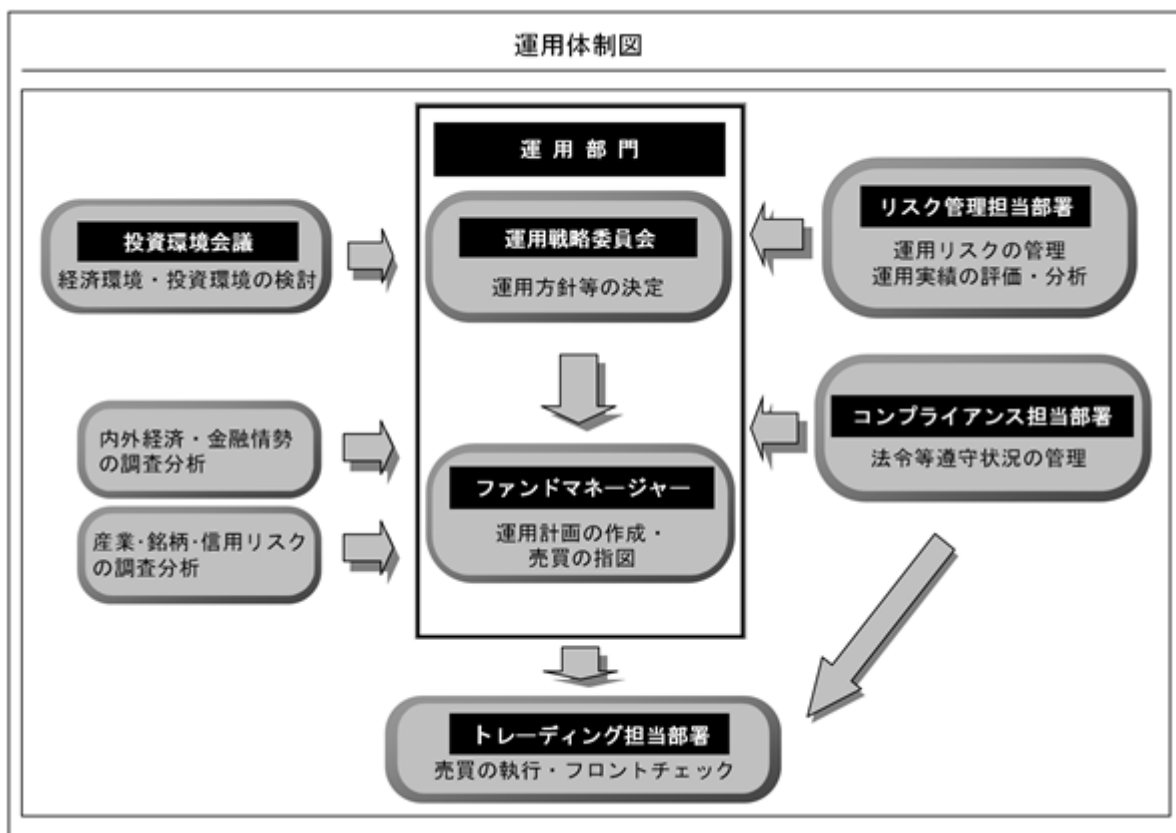
（注）組織変更等により前記の名称、人数または内容等は変更となる場合があります。

<訂正後>

ファンドの運用に関する主な会議および組織は次の通りです。（平成28年9月末現在）

| 会議 | 役割・機能 |
|---------|---|
| 投資環境会議 | 投資環境会議を開催し、経済環境等の長期的な構造変化や中長期的な投資環境について検討を行います。 |
| 運用戦略委員会 | 運用戦略委員会を開催し、運用方針等の決定を行います。 |

| 組織 | 役割・機能 |
|------------------|---|
| 運用部門（ファンドマネージャー） | ファンドマネージャーは運用戦略委員会にて運用方針が承認された後、運用計画を作成します。この計画に基づいて売買の指図を行い、ポートフォリオを構築します。なお、随時投資環境、投資対象ならびに資産状況について分析および検討し、ポートフォリオの見直しを行います。 |



参考

- ・ファンドの運用は、運用部門のファンドマネージャー4名程度で行います。
- ・トレーディング担当部署においては30名程度、リスク管理およびコンプライアンスの各担当部署においては総勢40～50名程度で上記業務に当たります。

運用体制に関する社内規則等は次の通りです。

委託会社は、「組織規則」において、運用方針等を決定する機関として運用戦略委員会をおくなどの運用体制を定めています。ファンドマネージャー（運用担当者）の適正な行動基準の確立のためにサービス規程を定めています。

関係法人に関する管理体制は次の通りです。

委託会社は、受託会社より年1回、内部統制の整備および運用状況に関する報告書を入手し、その内容の確認を行っています。

さらに、委託会社は、三菱UFJ信託銀行からの投資環境および全資産に関する助言を活用して、質の高い運用サービスの提供に努めています。

(注) 組織変更等により前記の名称、人数または内容等は変更となる場合があります。

3【投資リスク】

<訂正前>

(1) ファンドのリスク

(略)

a. 為替変動リスク

主要投資対象とする外国投資信託は、米ドル建資産へ投資し、原則として米ドル売り/ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。そのため、ブラジル・レアルが円に対して強く(円安に)なれば基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なれば基準価額の下落要因となります。また、ブラジル・レアルの金利が米ドルの金利より低い場合、その金利差相当分の為替取引によるコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分の為替取引によるコストとならない場合があります。

(略)

g. その他の主な留意点

(a) ファンドでは、USHYF(BRLクラス)への投資を通じて、外国為替予約取引と類似する直物為替先渡取引(NDF)を利用する場合があります。

直物為替先渡取引(NDF)の取引価格は、外国為替予約取引とは異なり、需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、基準価額の値動きは、実際の当該通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。

(b) ファンドが主要投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなった場合には、繰上償還されます。また、受益権の総口数が10億口を下ることとなった場合等には、信託期間中であっても償還されることがあります。

(c) 法令、税制および会計制度等は、今後変更される可能性があります。

(d) 信託財産の資金管理を円滑に行うため、原則として1日1件5億円を超える換金は行えないものとします。また、市況動向等により、これ以外にも大口の換金請求に制限を設ける場合があります。

(略)

<訂正後>

(1) ファンドのリスク

(略)

a. 為替変動リスク

主要投資対象とする外国投資信託は、米ドル建資産へ投資し、原則として米ドル売り/ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。そのため、ブラジル・レアルが円に対して強く(円安に)なれば基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なれば基準価額の下落要因となります。また、ブラジル・レアルの金利が米ドルの金利より低い場合、その金利差相当分の為替取引によるコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上の為替取引によるコストとなる場合があります。

(略)

g. その他の主な留意点

- (a) ファンドでは、USHYF(BRLクラス)への投資を通じて、外国為替予約取引と類似する直物為替先渡取引(NDF)を利用する場合があります。
直物為替先渡取引(NDF)の取引価格は、外国為替予約取引とは異なり、需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、基準価額の値動きは、実際の当該通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きくカイ離する場合があります。
- (b) ファンドが主要投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなった場合には、繰上償還されます。また、受益権の総口数が10億口を下ることとなった場合等には、信託期間中であっても償還されることがあります。
- (c) 法令、税制および会計制度等は、今後変更される可能性があります。
- (d) 信託財産の資金管理を円滑に行うため、原則として1日1件5億円を超える換金が行えないものとします。また、市況動向等により、これ以外にも大口の換金請求に制限を設ける場合があります。

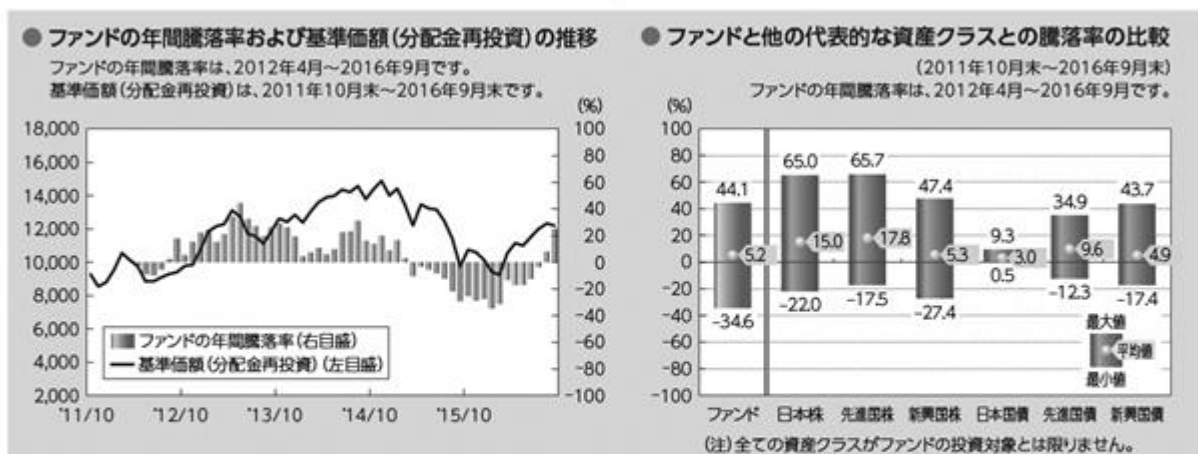
(略)

「参考情報」については、＜訂正後＞の内容に訂正いたします。

＜訂正後＞

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。



- ・基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- ・年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ・ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

代表的な資産クラスの指数について

| 資産クラス | 指数名 | 注記等 |
|-------|-------------------------------|--|
| 日本株 | TOPIX(配当込み) | TOPIX(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX(配当込み)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の停止またはTOPIX(配当込み)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。 |
| 先進国株 | MSCIコクサイ・インデックス(配当込み) | MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。 |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み) | MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。 |
| 日本国債 | NOMURA-BPI(国債) | NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(国債)はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI(国債)は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。 |
| 先進国債 | シティ世界国債インデックス(除く日本) | シティ世界国債インデックス(除く日本)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。 |
| 新興国債 | JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド | JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、JPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。 |

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

4【手数料等及び税金】

(3)【信託報酬等】

<訂正前>

- a. 信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年1.0584%（税抜0.9800%）の率を乗じて得た額とします。信託報酬は消費税等相当額を含みます。

1万口当たりの信託報酬：

$$\text{保有期間中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times (\text{保有日数} / 365)$$

上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- b. 信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。

信託報酬の平成28年3月末現在の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

| 支払先 | 配分（税抜） | 対価として提供する役務の内容 |
|------|---------|---|
| 委託会社 | 0.4000% | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等 |
| 販売会社 | 0.5500% | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等 |
| 受託会社 | 0.0300% | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等 |

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

前記のほかに投資対象とする投資信託証券に関しても信託（管理）報酬等がかかります。

受益者が負担する実質的な信託報酬率は、年率1.65%程度（税込）（年率1.57%程度（税抜））です。

前記の実質的な信託報酬率は、投資対象とする「US・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（BRLクラス）」における信託（管理）報酬率（運用報酬：年率0.50%、管理費用：年率0.09%程度）を含めた実質的な報酬率を算出したものです。ただし、管理費用には下限の金額が設定されており、投資信託証券の純資産総額等によっては、上記の実質的な信託報酬率を超える場合があります。

前記のほか、信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査に要する費用、投資信託証券のファンド設立に係る費用、法律関係の費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息等もファンドの信託財産から支弁されます。

なお、マネー・プール マザーファンドには、信託報酬はかかりません。

<訂正後>

- a. 信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年1.0584%（税抜0.9800%）の率を乗じて得た額とします。信託報酬は消費税等相当額を含みます。

1万口当たりの信託報酬：

$$\text{保有期間中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times (\text{保有日数} / 365)$$

上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- b. 信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。

信託報酬の平成28年9月末現在の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

| 支払先 | 配分（税抜） | 対価として提供する役務の内容 |
|------|---------|---|
| 委託会社 | 0.4000% | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等 |
| 販売会社 | 0.5500% | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等 |
| 受託会社 | 0.0300% | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等 |

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

前記のほかに投資対象とする投資信託証券に関しても信託（管理）報酬等がかかります。

受益者が負担する実質的な信託報酬率は、年率1.65%程度（税込）（年率1.57%程度（税抜））です。

前記の実質的な信託報酬率は、投資対象とする「U S ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（B R Lクラス）」における信託（管理）報酬率（運用報酬：年率0.50%、管理費用：年率0.09%程度）を含めた実質的な報酬率を算出したものです。ただし、管理費用には下限の金額が設定されており、投資信託証券の純資産総額等によっては、上記の実質的な信託報酬率を超える場合があります。

前記のほか、信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査に要する費用、投資信託証券のファンド設立に係る費用、法律関係の費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息等もファンドの信託財産から支弁されます。

なお、マネー・プール マザーファンドには、信託報酬はかかりません。

（５）【課税上の取扱い】

<訂正前>

ファンドの課税上の取扱いは、株式投資信託となります。

- * 以下の内容は、平成28年3月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- * 買取制度につきましては、販売会社に確認してください。
- * 税金の取扱いの詳細については、税務専門家等に確認されることをお勧めします。

個人の受益者に対する課税

| 期間 | 対象 | 課税対象 | 所得の種類 | 税率等 |
|--------------------------------------|--------------|-------|-------|--|
| 平成26年 1月1日から 平成49年 12月31日まで | 収益分配金 | 普通分配金 | 配当所得 | 源泉徴収（申告不要）20.315% ^{*1} (所得税15.315% ^{*1} 地方税5.000%) |
| | 一部解約金 償還金 | 譲渡益 | 譲渡所得 | 申告分離課税 ^{*2} 20.315% ^{*1} (所得税15.315% ^{*1} 地方税5.000%) |

*1 所得税の税率には、復興特別所得税が含まれています。

*2 原則として確定申告が必要ですが、特定口座（源泉徴収あり）をご利用の場合は、源泉徴収され、申告不要制度が適用されます。

- 1 収益分配金に対する課税は、確定申告を行うことにより総合課税または申告分離課税のいずれかを選択することもできます。
- 2 配当控除の適用はありません。

- 3 公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

| | 所得税法上の対象額 | 税率等 |
|-------|--------------|--|
| 収益分配金 | 普通分配金額 | 平成26年1月1日から平成49年12月31日までは源泉徴収15.315%*（所得税） |
| 一部解約金 | 解約価額の個別元本超過額 | |
| 償還金 | 償還価額の個別元本超過額 | |

* 所得税の税率には、復興特別所得税が含まれています。

税額控除制度が適用されます。なお、法人税の益金不算入制度は適用されません。その他くわしくは販売会社にお問い合わせください。

個別元本について

- 受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（消費税等相当額を含みます。）は含まれていません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。
- 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。
- 受益者が同一ファンドの受益権を複数の販売会社で取得する場合については、販売会社毎に個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドの受益権を取得する場合は当該支店等毎に個別元本の算出が行われる場合があります。
- 受益者が元本払戻金（特別分配金）を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。

受益者が収益分配金を受取る際は、

- 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。
- 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

<訂正後>

ファンドの課税上の取扱いは、株式投資信託となります。

- * 以下の内容は、平成28年9月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- * 買取制度につきましては、販売会社に確認してください。
- * 税金の取扱いの詳細については、税務専門家等に確認されることをお勧めします。

個人の受益者に対する課税

| 期間 | 対象 | 課税対象 | 所得の種類 | 税率等 |
|--------------------------------------|--------------|-------|-------|--|
| 平成26年 1月1日から 平成49年 12月31日まで | 収益分配金 | 普通分配金 | 配当所得 | 源泉徴収（申告不要）20.315% ^{*1} (所得税15.315% ^{*1} 地方税5.000%) |
| | 一部解約金 償還金 | 譲渡益 | 譲渡所得 | 申告分離課税 ^{*2} 20.315% ^{*1} (所得税15.315% ^{*1} 地方税5.000%) |

*1 所得税の税率には、復興特別所得税が含まれています。

*2 原則として確定申告が必要ですが、特定口座（源泉徴収あり）をご利用の場合は、源泉徴収され、申告不要制度が適用されます。

- 1 収益分配金に対する課税は、確定申告を行うことにより総合課税または申告分離課税のいずれかを選択することもできます。
- 2 配当控除の適用はありません。
- 3 公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

| | 所得税法上の対象額 | 税率等 |
|-------|--------------|---|
| 収益分配金 | 普通分配金額 | 平成26年1月1日から平成49年12月31日までは 源泉徴収15.315% [*] （所得税） |
| 一部解約金 | 解約価額の個別元本超過額 | |
| 償還金 | 償還価額の個別元本超過額 | |

* 所得税の税率には、復興特別所得税が含まれています。

税額控除制度が適用されます。なお、法人税の益金不算入制度は適用されません。その他くわしくは販売会社にお問い合わせください。

個別元本について

- a. 受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（消費税等相当額を含みます。）は含まれていません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。
- b. 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。
- c. 受益者が同一ファンドの受益権を複数の販売会社で取得する場合については、販売会社毎に個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドの受益権を取得する場合は当該支店等毎に個別元本の算出が行われる場合があります。

- d . 受益者が元本払戻金(特別分配金)を受取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)の区分があります。

受益者が収益分配金を受取る際は、

- a . 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。
- b . 当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

5【運用状況】

有価証券報告書の提出に伴い「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」の全文を訂正いたします。

<訂正後>

(1)【投資状況】

平成28年9月30日現在

(単位：円)

| 資産の種類 | 国/地域名 | 時価合計 | 投資比率(%) |
|--------------------------|--------|---------------|---------|
| 投資信託受益証券 | ケイマン諸島 | 1,316,725,821 | 97.99 |
| 親投資信託受益証券 | 日本 | 1,003 | 0.00 |
| コール・ローン、その他資産 (負債控除後) | | 26,974,269 | 2.01 |
| 純資産総額 | | 1,343,701,093 | 100.00 |

(注)投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

平成28年9月30日現在

| 国/地域 | 銘柄 | 種類 | 業種 | 口数 | 上段：帳簿価額 | | 利率(%) | 投資比率(%) |
|--------|-----------------------------|-----------|----|---------------|---------|---------------|-----------------|---------|
| | | | | | 下段：評価額 | | | |
| | | | | | 単価(円) | 金額(円) | 償還期限 (年/月/日) | |
| ケイマン諸島 | US・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(BRLクラス) | 投資信託受益証券 | | 2,628,195,252 | 0.5000 | 1,314,097,626 | | 97.99 |
| | | | | | 0.5010 | 1,316,725,821 | | |
| 日本 | マネー・プール マザーファンド | 親投資信託受益証券 | | 999 | 1.0047 | 1,003 | | 0.00 |
| | | | | | 1.0047 | 1,003 | | |

(注)投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類/業種別投資比率

平成28年9月30日現在

| 種類/業種別 | 投資比率(%) |
|-----------|---------|
| 投資信託受益証券 | 97.99 |
| 親投資信託受益証券 | 0.00 |
| 合計 | 97.99 |

(注)投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成28年9月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位：円)

| | 純資産総額 | 基準価額 (1万口当たりの純資産価額) |
|----------------------------|--|----------------------------|
| 第1計算期間末日 (平成23年 7月25日) | 979,304 (分配付) 979,304 (分配落) | 9,793 (分配付) 9,793 (分配落) |
| 第2計算期間末日 (平成23年 8月24日) | 5,488,045 (分配付) 5,408,374 (分配落) | 8,955 (分配付) 8,825 (分配落) |
| 第3計算期間末日 (平成23年 9月26日) | 77,506,225 (分配付) 76,213,659 (分配落) | 7,795 (分配付) 7,665 (分配落) |
| 第4計算期間末日 (平成23年10月24日) | 171,210,561 (分配付) 168,539,655 (分配落) | 8,333 (分配付) 8,203 (分配落) |
| 第5計算期間末日 (平成23年11月24日) | 171,349,927 (分配付) 168,593,968 (分配落) | 8,083 (分配付) 7,953 (分配落) |
| 第6計算期間末日 (平成23年12月26日) | 192,452,089 (分配付) 189,432,934 (分配落) | 8,287 (分配付) 8,157 (分配落) |
| 第7計算期間末日 (平成24年 1月24日) | 168,488,780 (分配付) 165,992,947 (分配落) | 8,776 (分配付) 8,646 (分配落) |
| 第8計算期間末日 (平成24年 2月24日) | 356,643,577 (分配付) 351,719,510 (分配落) | 9,416 (分配付) 9,286 (分配落) |
| 第9計算期間末日 (平成24年 3月26日) | 336,980,205 (分配付) 332,200,415 (分配落) | 9,165 (分配付) 9,035 (分配落) |
| 第10計算期間末日 (平成24年 4月24日) | 347,626,503 (分配付) 342,391,630 (分配落) | 8,633 (分配付) 8,503 (分配落) |
| 第11計算期間末日 (平成24年 5月24日) | 322,273,562 (分配付) 316,803,324 (分配落) | 7,659 (分配付) 7,529 (分配落) |
| 第12計算期間末日 (平成24年 6月25日) | 403,827,934 (分配付) 397,009,794 (分配落) | 7,700 (分配付) 7,570 (分配落) |
| 第13計算期間末日 (平成24年 7月24日) | 430,453,416 (分配付) 423,099,342 (分配落) | 7,609 (分配付) 7,479 (分配落) |
| 第14計算期間末日 (平成24年 8月24日) | 524,957,574 (分配付) 516,128,988 (分配落) | 7,730 (分配付) 7,600 (分配落) |
| 第15計算期間末日 (平成24年 9月24日) | 623,997,651 (分配付) 613,593,996 (分配落) | 7,797 (分配付) 7,667 (分配落) |
| 第16計算期間末日 (平成24年10月24日) | 796,677,596 (分配付) 783,506,792 (分配落) | 7,863 (分配付) 7,733 (分配落) |
| 第17計算期間末日 (平成24年11月26日) | 941,859,486 (分配付) 926,001,093 (分配落) | 7,721 (分配付) 7,591 (分配落) |
| 第18計算期間末日 (平成24年12月25日) | 1,200,957,057 (分配付) 1,181,570,841 (分配落) | 8,053 (分配付) 7,923 (分配落) |
| 第19計算期間末日 (平成25年 1月24日) | 1,560,117,803 (分配付) 1,536,623,726 (分配落) | 8,633 (分配付) 8,503 (分配落) |
| 第20計算期間末日 (平成25年 2月25日) | 2,137,302,755 (分配付) 2,107,093,726 (分配落) | 9,198 (分配付) 9,068 (分配落) |
| 第21計算期間末日 (平成25年 3月25日) | 1,983,251,329 (分配付) 1,955,081,240 (分配落) | 9,152 (分配付) 9,022 (分配落) |
| 第22計算期間末日 (平成25年 4月24日) | 1,881,348,891 (分配付) 1,855,692,056 (分配落) | 9,533 (分配付) 9,403 (分配落) |
| 第23計算期間末日 (平成25年 5月24日) | 1,832,708,309 (分配付) 1,807,941,567 (分配落) | 9,620 (分配付) 9,490 (分配落) |
| 第24計算期間末日 (平成25年 6月24日) | 1,463,803,874 (分配付) 1,440,319,850 (分配落) | 8,103 (分配付) 7,973 (分配落) |
| 第25計算期間末日 (平成25年 7月24日) | 1,561,975,775 (分配付) 1,537,961,254 (分配落) | 8,456 (分配付) 8,326 (分配落) |

| | | |
|----------------------------|--|----------------------------|
| 第26計算期間末日 (平成25年 8月26日) | 1,408,605,068 (分配付) 1,384,823,604 (分配落) | 7,700 (分配付) 7,570 (分配落) |
| 第27計算期間末日 (平成25年 9月24日) | 1,564,581,720 (分配付) 1,540,018,849 (分配落) | 8,281 (分配付) 8,151 (分配落) |
| 第28計算期間末日 (平成25年10月24日) | 1,590,573,099 (分配付) 1,565,517,361 (分配落) | 8,253 (分配付) 8,123 (分配落) |
| 第29計算期間末日 (平成25年11月25日) | 1,553,719,886 (分配付) 1,529,115,710 (分配落) | 8,209 (分配付) 8,079 (分配落) |
| 第30計算期間末日 (平成25年12月24日) | 1,475,482,199 (分配付) 1,451,567,236 (分配落) | 8,021 (分配付) 7,891 (分配落) |
| 第31計算期間末日 (平成26年 1月24日) | 1,492,346,356 (分配付) 1,467,885,293 (分配落) | 7,931 (分配付) 7,801 (分配落) |
| 第32計算期間末日 (平成26年 2月24日) | 1,722,557,107 (分配付) 1,694,632,029 (分配落) | 8,019 (分配付) 7,889 (分配落) |
| 第33計算期間末日 (平成26年 3月24日) | 1,739,746,422 (分配付) 1,711,643,361 (分配落) | 8,048 (分配付) 7,918 (分配落) |
| 第34計算期間末日 (平成26年 4月24日) | 1,738,363,396 (分配付) 1,711,341,768 (分配落) | 8,363 (分配付) 8,233 (分配落) |
| 第35計算期間末日 (平成26年 5月26日) | 1,693,124,626 (分配付) 1,666,626,181 (分配落) | 8,306 (分配付) 8,176 (分配落) |
| 第36計算期間末日 (平成26年 6月24日) | 1,726,303,081 (分配付) 1,699,419,320 (分配落) | 8,348 (分配付) 8,218 (分配落) |
| 第37計算期間末日 (平成26年 7月24日) | 1,762,613,722 (分配付) 1,734,529,030 (分配落) | 8,159 (分配付) 8,029 (分配落) |
| 第38計算期間末日 (平成26年 8月25日) | 1,853,824,118 (分配付) 1,824,159,960 (分配落) | 8,124 (分配付) 7,994 (分配落) |
| 第39計算期間末日 (平成26年 9月24日) | 1,675,422,185 (分配付) 1,648,037,862 (分配落) | 7,954 (分配付) 7,824 (分配落) |
| 第40計算期間末日 (平成26年10月24日) | 1,821,425,307 (分配付) 1,789,908,488 (分配落) | 7,513 (分配付) 7,383 (分配落) |
| 第41計算期間末日 (平成26年11月25日) | 1,824,526,869 (分配付) 1,794,727,681 (分配落) | 7,960 (分配付) 7,830 (分配落) |
| 第42計算期間末日 (平成26年12月24日) | 1,728,071,328 (分配付) 1,697,959,207 (分配落) | 7,460 (分配付) 7,330 (分配落) |
| 第43計算期間末日 (平成27年 1月26日) | 1,751,559,578 (分配付) 1,721,273,562 (分配落) | 7,518 (分配付) 7,388 (分配落) |
| 第44計算期間末日 (平成27年 2月24日) | 1,695,219,043 (分配付) 1,663,042,308 (分配落) | 6,849 (分配付) 6,719 (分配落) |
| 第45計算期間末日 (平成27年 3月24日) | 1,576,193,251 (分配付) 1,543,323,049 (分配落) | 6,234 (分配付) 6,104 (分配落) |
| 第46計算期間末日 (平成27年 4月24日) | 1,819,596,542 (分配付) 1,783,552,182 (分配落) | 6,563 (分配付) 6,433 (分配落) |
| 第47計算期間末日 (平成27年 5月25日) | 1,833,741,022 (分配付) 1,796,315,476 (分配落) | 6,370 (分配付) 6,240 (分配落) |
| 第48計算期間末日 (平成27年 6月24日) | 1,890,768,477 (分配付) 1,852,426,999 (分配落) | 6,411 (分配付) 6,281 (分配落) |
| 第49計算期間末日 (平成27年 7月24日) | 1,768,371,963 (分配付) 1,728,986,748 (分配落) | 5,837 (分配付) 5,707 (分配落) |
| 第50計算期間末日 (平成27年 8月24日) | 1,578,018,722 (分配付) 1,539,288,087 (分配落) | 5,297 (分配付) 5,167 (分配落) |
| 第51計算期間末日 (平成27年 9月24日) | 1,303,989,100 (分配付) 1,266,749,008 (分配落) | 4,552 (分配付) 4,422 (分配落) |
| 第52計算期間末日 (平成27年10月26日) | 1,431,923,578 (分配付) 1,391,207,436 (分配落) | 4,572 (分配付) 4,442 (分配落) |
| 第53計算期間末日 (平成27年11月24日) | 1,463,855,313 (分配付) 1,431,770,492 (分配落) | 4,562 (分配付) 4,462 (分配落) |
| 第54計算期間末日 (平成27年12月24日) | 1,280,838,464 (分配付) 1,248,747,333 (分配落) | 3,991 (分配付) 3,891 (分配落) |

| | | |
|----------------------------|--|----------------------------|
| 第55計算期間末日 (平成28年 1月25日) | 1,222,550,943 (分配付) 1,189,318,530 (分配落) | 3,679 (分配付) 3,579 (分配落) |
| 第56計算期間末日 (平成28年 2月24日) | 1,176,375,141 (分配付) 1,142,680,672 (分配落) | 3,491 (分配付) 3,391 (分配落) |
| 第57計算期間末日 (平成28年 3月24日) | 1,334,813,177 (分配付) 1,300,683,375 (分配落) | 3,911 (分配付) 3,811 (分配落) |
| 第58計算期間末日 (平成28年 4月25日) | 1,299,314,744 (分配付) 1,266,875,573 (分配落) | 4,005 (分配付) 3,905 (分配落) |
| 第59計算期間末日 (平成28年 5月24日) | 1,295,934,210 (分配付) 1,262,550,157 (分配落) | 3,882 (分配付) 3,782 (分配落) |
| 第60計算期間末日 (平成28年 6月24日) | 1,369,251,338 (分配付) 1,335,112,381 (分配落) | 4,011 (分配付) 3,911 (分配落) |
| 第61計算期間末日 (平成28年 7月25日) | 1,470,640,518 (分配付) 1,449,365,501 (分配落) | 4,148 (分配付) 4,088 (分配落) |
| 第62計算期間末日 (平成28年 8月24日) | 1,363,089,007 (分配付) 1,342,651,450 (分配落) | 4,002 (分配付) 3,942 (分配落) |
| 第63計算期間末日 (平成28年 9月26日) | 1,355,702,139 (分配付) 1,335,386,156 (分配落) | 4,004 (分配付) 3,944 (分配落) |
| 平成27年 9月末日 | 1,205,958,640 | 4,173 |
| 10月末日 | 1,433,088,971 | 4,474 |
| 11月末日 | 1,392,983,663 | 4,315 |
| 12月末日 | 1,299,293,084 | 4,034 |
| 平成28年 1月末日 | 1,219,889,766 | 3,640 |
| 2月末日 | 1,179,345,670 | 3,466 |
| 3月末日 | 1,227,305,147 | 3,858 |
| 4月末日 | 1,295,345,186 | 3,975 |
| 5月末日 | 1,288,298,676 | 3,816 |
| 6月末日 | 1,296,865,420 | 3,901 |
| 7月末日 | 1,421,901,657 | 4,006 |
| 8月末日 | 1,386,669,401 | 4,051 |
| 9月末日 | 1,343,701,093 | 3,947 |

【分配の推移】

| | 1万口当たりの分配金 |
|---------|------------|
| 第1計算期間 | 0円 |
| 第2計算期間 | 130円 |
| 第3計算期間 | 130円 |
| 第4計算期間 | 130円 |
| 第5計算期間 | 130円 |
| 第6計算期間 | 130円 |
| 第7計算期間 | 130円 |
| 第8計算期間 | 130円 |
| 第9計算期間 | 130円 |
| 第10計算期間 | 130円 |
| 第11計算期間 | 130円 |
| 第12計算期間 | 130円 |
| 第13計算期間 | 130円 |
| 第14計算期間 | 130円 |
| 第15計算期間 | 130円 |
| 第16計算期間 | 130円 |
| 第17計算期間 | 130円 |
| 第18計算期間 | 130円 |
| 第19計算期間 | 130円 |
| 第20計算期間 | 130円 |
| 第21計算期間 | 130円 |
| 第22計算期間 | 130円 |
| 第23計算期間 | 130円 |
| 第24計算期間 | 130円 |

| | |
|---------|------|
| 第25計算期間 | 130円 |
| 第26計算期間 | 130円 |
| 第27計算期間 | 130円 |
| 第28計算期間 | 130円 |
| 第29計算期間 | 130円 |
| 第30計算期間 | 130円 |
| 第31計算期間 | 130円 |
| 第32計算期間 | 130円 |
| 第33計算期間 | 130円 |
| 第34計算期間 | 130円 |
| 第35計算期間 | 130円 |
| 第36計算期間 | 130円 |
| 第37計算期間 | 130円 |
| 第38計算期間 | 130円 |
| 第39計算期間 | 130円 |
| 第40計算期間 | 130円 |
| 第41計算期間 | 130円 |
| 第42計算期間 | 130円 |
| 第43計算期間 | 130円 |
| 第44計算期間 | 130円 |
| 第45計算期間 | 130円 |
| 第46計算期間 | 130円 |
| 第47計算期間 | 130円 |
| 第48計算期間 | 130円 |
| 第49計算期間 | 130円 |
| 第50計算期間 | 130円 |
| 第51計算期間 | 130円 |
| 第52計算期間 | 130円 |
| 第53計算期間 | 100円 |
| 第54計算期間 | 100円 |
| 第55計算期間 | 100円 |
| 第56計算期間 | 100円 |
| 第57計算期間 | 100円 |
| 第58計算期間 | 100円 |
| 第59計算期間 | 100円 |
| 第60計算期間 | 100円 |
| 第61計算期間 | 60円 |
| 第62計算期間 | 60円 |
| 第63計算期間 | 60円 |

【収益率の推移】

| | 収益率（％） |
|---------|--------|
| 第1計算期間 | 2.07 |
| 第2計算期間 | 8.55 |
| 第3計算期間 | 11.67 |
| 第4計算期間 | 8.71 |
| 第5計算期間 | 1.46 |
| 第6計算期間 | 4.19 |
| 第7計算期間 | 7.58 |
| 第8計算期間 | 8.90 |
| 第9計算期間 | 1.30 |
| 第10計算期間 | 4.44 |
| 第11計算期間 | 9.92 |
| 第12計算期間 | 2.27 |
| 第13計算期間 | 0.51 |
| 第14計算期間 | 3.35 |
| 第15計算期間 | 2.59 |
| 第16計算期間 | 2.55 |

| | |
|---------|-------|
| 第17計算期間 | 0.15 |
| 第18計算期間 | 6.08 |
| 第19計算期間 | 8.96 |
| 第20計算期間 | 8.17 |
| 第21計算期間 | 0.92 |
| 第22計算期間 | 5.66 |
| 第23計算期間 | 2.30 |
| 第24計算期間 | 14.61 |
| 第25計算期間 | 6.05 |
| 第26計算期間 | 7.51 |
| 第27計算期間 | 9.39 |
| 第28計算期間 | 1.25 |
| 第29計算期間 | 1.05 |
| 第30計算期間 | 0.71 |
| 第31計算期間 | 0.50 |
| 第32計算期間 | 2.79 |
| 第33計算期間 | 2.01 |
| 第34計算期間 | 5.62 |
| 第35計算期間 | 0.88 |
| 第36計算期間 | 2.10 |
| 第37計算期間 | 0.71 |
| 第38計算期間 | 1.18 |
| 第39計算期間 | 0.50 |
| 第40計算期間 | 3.97 |
| 第41計算期間 | 7.81 |
| 第42計算期間 | 4.72 |
| 第43計算期間 | 2.56 |
| 第44計算期間 | 7.29 |
| 第45計算期間 | 7.21 |
| 第46計算期間 | 7.51 |
| 第47計算期間 | 0.97 |
| 第48計算期間 | 2.74 |
| 第49計算期間 | 7.06 |
| 第50計算期間 | 7.18 |
| 第51計算期間 | 11.90 |
| 第52計算期間 | 3.39 |
| 第53計算期間 | 2.70 |
| 第54計算期間 | 10.55 |
| 第55計算期間 | 5.44 |
| 第56計算期間 | 2.45 |
| 第57計算期間 | 15.33 |
| 第58計算期間 | 5.09 |
| 第59計算期間 | 0.58 |
| 第60計算期間 | 6.05 |
| 第61計算期間 | 6.05 |
| 第62計算期間 | 2.10 |
| 第63計算期間 | 1.57 |

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

| | 設定口数 | 解約口数 | 発行済口数 |
|--------|-------------|------------|-------------|
| 第1計算期間 | 1,000,000 | | 1,000,000 |
| 第2計算期間 | 5,128,547 | | 6,128,547 |
| 第3計算期間 | 94,611,485 | 1,311,828 | 99,428,204 |
| 第4計算期間 | 148,805,765 | 42,779,588 | 205,454,381 |
| 第5計算期間 | 103,162,747 | 96,620,254 | 211,996,874 |

| | | | |
|---------|-------------|-------------|---------------|
| 第6計算期間 | 98,118,670 | 77,872,829 | 232,242,715 |
| 第7計算期間 | 56,958,451 | 97,213,973 | 191,987,193 |
| 第8計算期間 | 243,448,043 | 56,660,775 | 378,774,461 |
| 第9計算期間 | 165,161,603 | 176,259,874 | 367,676,190 |
| 第10計算期間 | 136,944,370 | 101,937,988 | 402,682,572 |
| 第11計算期間 | 114,875,974 | 96,771,007 | 420,787,539 |
| 第12計算期間 | 184,235,004 | 80,550,219 | 524,472,324 |
| 第13計算期間 | 169,118,921 | 127,893,219 | 565,698,026 |
| 第14計算期間 | 160,859,866 | 47,435,819 | 679,122,073 |
| 第15計算期間 | 200,535,056 | 79,375,909 | 800,281,220 |
| 第16計算期間 | 261,837,863 | 48,980,280 | 1,013,138,803 |
| 第17計算期間 | 301,032,267 | 94,294,646 | 1,219,876,424 |
| 第18計算期間 | 547,584,444 | 276,213,475 | 1,491,247,393 |
| 第19計算期間 | 648,001,057 | 332,011,720 | 1,807,236,730 |
| 第20計算期間 | 929,244,033 | 412,709,274 | 2,323,771,489 |
| 第21計算期間 | 448,219,020 | 605,060,516 | 2,166,929,993 |
| 第22計算期間 | 301,116,867 | 494,444,158 | 1,973,602,702 |
| 第23計算期間 | 303,588,278 | 372,056,962 | 1,905,134,018 |
| 第24計算期間 | 248,359,595 | 347,030,177 | 1,806,463,436 |
| 第25計算期間 | 207,675,184 | 166,867,767 | 1,847,270,853 |
| 第26計算期間 | 150,576,307 | 168,503,753 | 1,829,343,407 |
| 第27計算期間 | 147,469,109 | 87,360,896 | 1,889,451,620 |
| 第28計算期間 | 212,558,684 | 174,645,805 | 1,927,364,499 |
| 第29計算期間 | 114,864,336 | 149,599,846 | 1,892,628,989 |
| 第30計算期間 | 121,488,845 | 174,505,240 | 1,839,612,594 |
| 第31計算期間 | 174,728,706 | 132,721,002 | 1,881,620,298 |
| 第32計算期間 | 373,326,241 | 106,863,611 | 2,148,082,928 |
| 第33計算期間 | 302,097,328 | 288,406,327 | 2,161,773,929 |
| 第34計算期間 | 286,048,308 | 369,235,423 | 2,078,586,814 |
| 第35計算期間 | 300,696,720 | 340,941,594 | 2,038,341,940 |
| 第36計算期間 | 353,433,152 | 323,793,405 | 2,067,981,687 |
| 第37計算期間 | 372,645,224 | 280,265,945 | 2,160,360,966 |
| 第38計算期間 | 279,837,208 | 158,339,815 | 2,281,858,359 |
| 第39計算期間 | 153,054,648 | 328,426,573 | 2,106,486,434 |
| 第40計算期間 | 386,064,438 | 68,180,134 | 2,424,370,738 |
| 第41計算期間 | 378,781,737 | 510,907,168 | 2,292,245,307 |
| 第42計算期間 | 481,055,133 | 456,983,392 | 2,316,317,048 |
| 第43計算期間 | 114,501,501 | 101,124,963 | 2,329,693,586 |
| 第44計算期間 | 211,069,198 | 65,629,317 | 2,475,133,467 |
| 第45計算期間 | 230,542,442 | 177,198,770 | 2,528,477,139 |
| 第46計算期間 | 328,544,764 | 84,378,752 | 2,772,643,151 |
| 第47計算期間 | 240,392,536 | 134,147,491 | 2,878,888,196 |
| 第48計算期間 | 124,983,268 | 54,526,972 | 2,949,344,492 |
| 第49計算期間 | 123,493,085 | 43,205,621 | 3,029,631,956 |
| 第50計算期間 | 127,361,931 | 177,714,257 | 2,979,279,630 |
| 第51計算期間 | 139,256,328 | 253,913,432 | 2,864,622,526 |
| 第52計算期間 | 353,623,415 | 86,235,017 | 3,132,010,924 |
| 第53計算期間 | 131,443,020 | 54,971,785 | 3,208,482,159 |
| 第54計算期間 | 94,576,907 | 93,945,929 | 3,209,113,137 |
| 第55計算期間 | 177,953,049 | 63,824,799 | 3,323,241,387 |
| 第56計算期間 | 83,183,215 | 36,977,643 | 3,369,446,959 |
| 第57計算期間 | 95,626,248 | 52,092,919 | 3,412,980,288 |
| 第58計算期間 | 211,356,600 | 380,419,749 | 3,243,917,139 |
| 第59計算期間 | 216,694,559 | 122,206,385 | 3,338,405,313 |
| 第60計算期間 | 198,548,625 | 123,058,175 | 3,413,895,763 |
| 第61計算期間 | 312,806,517 | 180,866,018 | 3,545,836,262 |
| 第62計算期間 | 172,182,425 | 311,759,148 | 3,406,259,539 |
| 第63計算期間 | 142,063,778 | 162,326,116 | 3,385,997,201 |

<参考>

「マネー・プール マザーファンド」

(1) 投資状況

平成28年9月30日現在

| 資産の種類 | 国/地域名 | 時価合計 | 投資比率(%) |
|--------------------------|-------|-------------|---------|
| コール・ローン、その他資産 (負債控除後) | | 224,339,030 | 100.00 |
| 純資産総額 | | 224,339,030 | 100.00 |

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

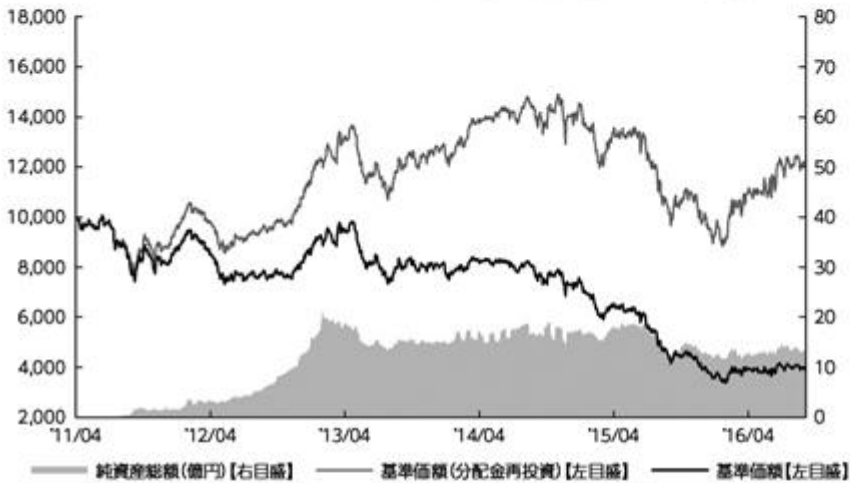
(参考情報) 運用実績



運用実績

2016年9月30日現在

■ 基準価額・純資産の推移 2011年4月27日(設定日)～2016年9月30日



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は10,000を起点として表示
- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■ 基準価額・純資産

| | |
|-------|--------|
| 基準価額 | 3,947円 |
| 純資産総額 | 13.4億円 |

■ 分配の推移

| | |
|---------|--------|
| 2016年9月 | 60円 |
| 2016年8月 | 60円 |
| 2016年7月 | 60円 |
| 2016年6月 | 100円 |
| 2016年5月 | 100円 |
| 2016年4月 | 100円 |
| 直近1年間累計 | 1,110円 |
| 設定来累計 | 7,610円 |

- ・分配金は1万円当たり、税引前

■ 主要な資産の状況

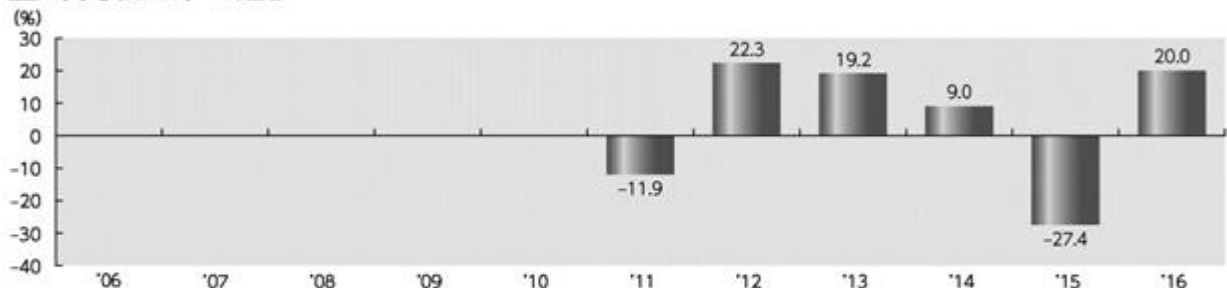
| 資産構成 | 比率 |
|-----------------------------|--------|
| US・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(BRLクラス) | 98.0% |
| マネー・プール マザーファンド | 0.0% |
| コールローン他(負債控除後) | 2.0% |
| 合計 | 100.0% |

- ・比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- ・コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

| 組入上位銘柄 | 国・地域 | 利率 | 償還日 | 比率 |
|-----------------------------------|------|---------|-------------|------|
| 1 スプリント | 米国 | 7.875% | 2023年9月15日 | 1.9% |
| 2 MGMリゾート・インターナショナル | 米国 | 7.750% | 2022年3月15日 | 1.6% |
| 3 シーザーズ・エンターテインメント・オペレーティング・カンパニー | 米国 | 9.000% | 2020年2月15日 | 1.5% |
| 4 HCA | 米国 | 7.500% | 2022年2月15日 | 1.2% |
| 5 ファースト・データ | 米国 | 5.750% | 2024年1月15日 | 1.2% |
| 6 シーザーズ・エンターテインメント・オペレーティング・カンパニー | 米国 | 11.250% | 2017年6月1日 | 1.2% |
| 7 デイッシュ DBS | 米国 | 5.875% | 2024年11月15日 | 1.2% |
| 8 パリアント・ファーマシューティカルズ・インターナショナル | 米国 | 7.500% | 2021年7月15日 | 1.1% |
| 9 HCA | 米国 | 5.375% | 2025年2月1日 | 1.1% |
| 10 ラジオ・システムズ | 米国 | 8.375% | 2019年11月1日 | 1.0% |

- ・比率は実質的な投資を行う外国投資信託の純資産総額に対する投資比率
- ・外国投資信託の資料に基づき作成しています(現地月末基準)。

■ 年間収益率の推移



- ・収益率は基準価額(分配金再投資)で計算
- ・2011年は設定日から年末までの、2016年は年初から9月30日までの収益率を表示
- ・ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

第3【ファンドの経理状況】

有価証券報告書の提出に伴い「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」の全文を訂正いたします。

<訂正後>

- 1 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 2 毎月決算ファンドの計算期間は6ヵ月未満であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。
- 3 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期（平成28年3月25日から平成28年9月26日まで）の財務諸表について、新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】

【米国高利回り社債・ブラジル・リアルファンド（毎月決算型）】

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

| | 前期 [平成28年3月24日現在] | 当期 [平成28年9月26日現在] |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 金銭信託 | 59,679,572 | - |
| コール・ローン | 4,255,965 | 83,846,670 |
| 投資信託受益証券 | 1,273,668,006 | 1,295,504,127 |
| 親投資信託受益証券 | 1,004 | 1,003 |
| 未収入金 | 1,000,000 | - |
| 流動資産合計 | 1,338,604,547 | 1,379,351,800 |
| 資産合計 | 1,338,604,547 | 1,379,351,800 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払金 | - | 21,000,000 |
| 未払収益分配金 | 34,129,802 | 20,315,983 |
| 未払解約金 | 2,718,554 | 1,359,288 |
| 未払受託者報酬 | 32,708 | 39,337 |
| 未払委託者報酬 | 1,035,757 | 1,245,674 |
| 未払利息 | - | 128 |
| その他未払費用 | 4,351 | 5,234 |
| 流動負債合計 | 37,921,172 | 43,965,644 |
| 負債合計 | 37,921,172 | 43,965,644 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 1,341,980,288 | 1,338,997,201 |
| 剰余金 | | |
| 期末剰余金又は期末欠損金() | 2 2,112,296,913 | 2 2,050,611,045 |
| (分配準備積立金) | 185,288 | 377,549 |
| 元本等合計 | 1,300,683,375 | 1,335,386,156 |
| 純資産合計 | 1,300,683,375 | 1,335,386,156 |
| 負債純資産合計 | 1,338,604,547 | 1,379,351,800 |

(2)【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

| | 前期 | | 当期 | |
|---|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|
| | 自 平成27年 至 平成28年 | 9月25日 3月24日 | 自 平成28年 至 平成28年 | 3月25日 9月26日 |
| 営業収益 | | | | |
| 配当株式 | | 134,432,422 | | 131,101,007 |
| 受取利息 | | 8,693 | | 60 |
| 有価証券売買等損益 | | 117,972,755 | | 75,735,113 |
| 営業収益合計 | | 16,468,360 | | 206,836,180 |
| 営業費用 | | | | |
| 支払利息 | | - | | 10,027 |
| 受託者報酬 | | 210,130 | | 215,287 |
| 委託者報酬 | | 6,654,030 | | 6,817,306 |
| その他費用 | | 27,960 | | 28,671 |
| 営業費用合計 | | 6,892,120 | | 7,071,291 |
| 営業利益又は営業損失() | | 9,576,240 | | 199,764,889 |
| 経常利益又は経常損失() | | 9,576,240 | | 199,764,889 |
| 当期純利益又は当期純損失() | | 9,576,240 | | 199,764,889 |
| 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額() | | 208,246 | | 103,078 |
| 期首剰余金又は期首欠損金() | | 1,597,873,518 | | 2,112,296,913 |
| 剰余金増加額又は欠損金減少額 | | 227,843,316 | | 779,215,363 |
| 当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額 | | 227,843,316 | | 779,215,363 |
| 剰余金減少額又は欠損金増加額 | | 546,102,419 | | 755,406,724 |
| 当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額 | | 546,102,419 | | 755,406,724 |
| 分配金 | | 1,205,948,778 | | 1,161,990,738 |
| 期末剰余金又は期末欠損金() | | 2,112,296,913 | | 2,050,611,045 |

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| | |
|---------------------------|--|
| 1 有価証券の評価基準及び評価方法 | 投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。 |
| 2 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。 ファンドの特定期間 当ファンドは、原則として毎年3月24日および9月24日を特定期間の末日としておりますが、当特定期間においては当該日が休業日のため、当特定期間は平成28年3月25日から平成28年9月26日までとなっております。 |

(貸借対照表に関する注記)

| | 前期 [平成28年3月24日現在] | 当期 [平成28年9月26日現在] |
|--|----------------------|----------------------|
| 1 期首元本額 | 2,864,622,526円 | 3,412,980,288円 |
| 期中追加設定元本額 | 936,405,854円 | 1,253,652,504円 |
| 期中一部解約元本額 | 388,048,092円 | 1,280,635,591円 |
| 2 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。 | 2,112,296,913円 | 2,050,611,045円 |
| 3 受益権の総数 | 3,412,980,288口 | 3,385,997,201口 |
| 4 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) | 0.3811円 (3,811円) | 0.3944円 (3,944円) |

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期(自平成27年9月25日 至 平成28年3月24日)

1 分配金の計算過程

| (自平成27年9月25日 至 平成27年10月26日) | | |
|-----------------------------|--------------|----------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 19,198,083円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | |
| 収益調整金額 | C | 448,215,000円 |
| 分配準備積立金額 | D | 6,425,792円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 473,838,875円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,132,010,924口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,512円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 130円 |
| 収益分配金金額 | I=F*H/10,000 | 40,716,142円 |

| (自平成27年10月27日 至 平成27年11月24日) | | |
|------------------------------|--------------|----------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 24,614,425円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | |
| 収益調整金額 | C | 437,953,732円 |
| 分配準備積立金額 | D | 6,099,799円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 468,667,956円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,208,482,159口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,460円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 100円 |
| 収益分配金金額 | I=F*H/10,000 | 32,084,821円 |

| (自 平成27年11月25日 至 平成27年12月24日) | | |
|---------------------------------|--------------|----------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 21,502,957円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | |
| 収益調整金額 | C | 430,892,107円 |
| 分配準備積立金額 | D | 6,147,481円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 458,542,545円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,209,113,137口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,428円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 100円 |
| 収益分配金金額 | I=F*H/10,000 | 32,091,131円 |

| (自 平成27年12月25日 至 平成28年1月25日) | | |
|--------------------------------|--------------|----------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 19,992,535円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | |
| 収益調整金額 | C | 436,119,410円 |
| 分配準備積立金額 | D | 6,029,979円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 462,141,924円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,323,241,387口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,390円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 100円 |
| 収益分配金金額 | I=F*H/10,000 | 33,232,413円 |

| (自 平成28年1月26日 至 平成28年2月24日) | | |
|-------------------------------|--------------|----------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 22,431,752円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | |
| 収益調整金額 | C | 429,161,637円 |
| 分配準備積立金額 | D | 6,016,349円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 457,609,738円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,369,446,959口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,358円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 100円 |
| 収益分配金金額 | I=F*H/10,000 | 33,694,469円 |

| (自 平成28年2月25日 至 平成28年3月24日) | | |
|-------------------------------|--------------|----------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 20,179,314円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | |
| 収益調整金額 | C | 429,576,906円 |
| 分配準備積立金額 | D | 142,557円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 449,898,777円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,412,980,288口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,318円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 100円 |
| 収益分配金金額 | I=F*H/10,000 | 34,129,802円 |

当期（自 平成28年3月25日 至 平成28年9月26日）

1 分配金の計算過程

| (自 平成28年3月25日 至 平成28年4月25日) | | |
|-------------------------------|--------------|----------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 20,554,464円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | |
| 収益調整金額 | C | 395,954,151円 |
| 分配準備積立金額 | D | 164,909円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 416,673,524円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,243,917,139口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,284円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 100円 |
| 収益分配金金額 | I=F*H/10,000 | 32,439,171円 |

| | | (自 平成28年4月26日 至 平成28年5月24日) |
|---------------------------|--------------|-------------------------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 20,107,931円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | |
| 収益調整金額 | C | 396,332,377円 |
| 分配準備積立金額 | D | 272,140円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 416,712,448円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,338,405,313口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,248円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 100円 |
| 収益分配金金額 | I=F*H/10,000 | 33,384,053円 |

| | | (自 平成28年5月25日 至 平成28年6月24日) |
|---------------------------|--------------|-------------------------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 20,946,593円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | |
| 収益調整金額 | C | 392,887,268円 |
| 分配準備積立金額 | D | 15,227円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 413,849,088円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,413,895,763口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,212円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 100円 |
| 収益分配金金額 | I=F*H/10,000 | 34,138,957円 |

| | | (自 平成28年6月25日 至 平成28年7月25日) |
|---------------------------|--------------|-------------------------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 19,960,190円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | |
| 収益調整金額 | C | 395,888,782円 |
| 分配準備積立金額 | D | 129,877円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 415,978,849円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,545,836,262口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,173円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 60円 |
| 収益分配金金額 | I=F*H/10,000 | 21,275,017円 |

| | | (自 平成28年7月26日 至 平成28年8月24日) |
|---------------------------|--------------|-------------------------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 19,911,291円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | |
| 収益調整金額 | C | 379,738,429円 |
| 分配準備積立金額 | D | 213,210円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 399,862,930円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,406,259,539口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,173円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 60円 |
| 収益分配金金額 | I=F*H/10,000 | 20,437,557円 |

| | | (自 平成28年8月25日 至 平成28年9月26日) |
|---------------------------|--------------|-------------------------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 20,667,260円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 | B | |
| 収益調整金額 | C | 377,852,583円 |
| 分配準備積立金額 | D | 26,272円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 | E=A+B+C+D | 398,546,115円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,385,997,201口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 | G=E/F*10,000 | 1,177円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 60円 |
| 収益分配金金額 | I=F*H/10,000 | 20,315,983円 |

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

| 区分 | 前期 （自平成27年9月25日 至平成28年3月24日） | 当期 （自平成28年3月25日 至平成28年9月26日） |
|-------------------------|--|------------------------------------|
| 1 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。 | 同 左 |
| 2 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク | 当ファンドは、投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 | 同 左 |
| | 当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 | 同 左 |
| 3 金融商品に係るリスク管理体制 | ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。 | 同 左 |

2 金融商品の時価等に関する事項

| 区分 | 前期 [平成28年3月24日現在] | 当期 [平成28年9月26日現在] |
|---------------------------|---|----------------------|
| 1 貸借対照表計上額、時価及びその差額 | 時価で計上しているためその差額はありません。 | 同 左 |
| 2 時価の算定方法 | 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 | 同 左 同 左 |
| | 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 | 同 左 |
| 3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもあります。 | 同 左 |

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

| 種類 | 前期 [平成28年3月24日現在] | 当期 [平成28年9月26日現在] |
|-----------|-----------------------|-----------------------|
| | 最終計算期間の損益に含まれた評価差額(円) | 最終計算期間の損益に含まれた評価差額(円) |
| 投資信託受益証券 | 165,660,617 | 26,987,103 |
| 親投資信託受益証券 | | |
| 合計 | 165,660,617 | 26,987,103 |

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

(単位：円)

| 種類 | 銘柄 | 口数 | 評価額 | 備考 |
|-----------|-----------------------------|---------------|---------------|----|
| 投資信託受益証券 | US・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(BRLクラス) | 2,587,902,772 | 1,295,504,127 | |
| | 投資信託受益証券 小計 | 2,587,902,772 | 1,295,504,127 | |
| 親投資信託受益証券 | マネー・プール マザーファンド | 999 | 1,003 | |
| | 親投資信託受益証券 小計 | 999 | 1,003 | |
| 合計 | | | 1,295,505,130 | |

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

<参考>

当ファンドは投資信託受益証券および親投資信託受益証券を主要投資対象としております。

貸借対照表の資産の部に計上された投資信託受益証券および親投資信託受益証券の状況は以下の通りです。

「マネー・プール マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

(1) 貸借対照表

| | [平成28年3月24日現在] | [平成28年9月26日現在] |
|-------------|----------------|----------------|
| | 金額(円) | 金額(円) |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 金銭信託 | 287,650,155 | |
| コール・ローン | 20,513,367 | 40,095,667 |
| 国債証券 | 301,622,500 | |
| 現先取引勘定 | | 199,999,975 |
| 未収利息 | 353,129 | |
| 流動資産合計 | 610,139,151 | 240,095,642 |
| 資産合計 | 610,139,151 | 240,095,642 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払解約金 | 48,987,961 | 4,022 |
| 未払利息 | | 61 |
| 流動負債合計 | 48,987,961 | 4,083 |
| 負債合計 | 48,987,961 | 4,083 |
| 純資産の部 | | |
| 元本等 | | |
| 元本 | 1 558,326,369 | 238,965,010 |
| 剰余金 | | |
| 剰余金又は欠損金() | 2,824,821 | 1,126,549 |
| 元本等合計 | 561,151,190 | 240,091,559 |
| 純資産合計 | 561,151,190 | 240,091,559 |
| 負債純資産合計 | 610,139,151 | 240,095,642 |

(注1) 親投資信託の計算期間は、原則として、毎年1月15日から7月14日まで、および7月15日から翌年1月14日までであります。

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

| | |
|-------------------|---|
| 1 有価証券の評価基準及び評価方法 | 公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。 |
|-------------------|---|

(貸借対照表に関する注記)

| | [平成28年3月24日現在] | [平成28年9月26日現在] |
|--|------------------|------------------|
| 1 期首 | 平成27年9月25日 | 平成28年3月25日 |
| 期首元本額 | 710,467,209円 | 558,326,369円 |
| 期首からの追加設定元本額 | 1,641,358,910円 | 148,477,358円 |
| 期首からの一部解約元本額 | 1,793,499,750円 | 467,838,717円 |
| 元本の内訳* | | |
| 世界好利回りCBファンド2013-03 為替ヘッジあり | 99,642円 | 99,642円 |
| 世界好利回りCBファンド2013-03 円高ヘッジ・円安追随型 | 99,642円 | 99,642円 |
| 短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり)2013-12 | 99,582円 | 99,582円 |
| 短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり)2014-02 | 99,572円 | 99,572円 |
| 短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり)2014-03 | 99,572円 | 99,572円 |
| 短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり)2014-04 | 99,562円 | 99,562円 |
| 先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり)2014-09 | 99,553円 | 99,553円 |
| 先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり)2014-12 | 99,533円 | 99,533円 |
| 先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付)2014-12 | 99,533円 | 99,533円 |
| 先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり)2015-03 | 99,523円 | 99,523円 |
| 先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし)2015-03 | 99,523円 | 99,523円 |
| 先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付)2015-03 | 99,523円 | 99,523円 |
| 日本株 2.5ブルベア・オープン (マネー・プール・ファンド) | 250,733,274円 | |
| 新興国公社債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型) | 1,692,054円 | 1,692,054円 |
| 新興国公社債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型) | 200,000円 | 200,000円 |
| 新興国公社債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型) | 1,008,738円 | 1,008,738円 |
| 新興国公社債オープン(通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース(毎月決算型) | 63,697円 | 63,697円 |
| 新興国公社債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型) | 6,316,452円 | 6,316,452円 |
| 新興国公社債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンド(年2回決算型) | 7,414,223円 | 7,371,156円 |
| 世界投資適格債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型) | 5,154,901円 | 5,154,901円 |
| 世界投資適格債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型) | 49,966円 | 49,966円 |
| 世界投資適格債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型) | 995,161円 | 995,161円 |
| 世界投資適格債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型) | 2,234,005円 | 2,234,005円 |
| 世界投資適格債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型) | 28,349円 | 28,349円 |
| 世界投資適格債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型) | 1,013,875円 | 1,013,875円 |
| 世界投資適格債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンド(年2回決算型) | 6,985,372円 | 6,982,803円 |
| 新興国公社債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型) | 19,989円 | 19,989円 |
| マネー・プール・ファンド | 977,750円 | 977,333円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型) | 4,314,823円 | 4,314,823円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型) | 119,857円 | 119,857円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型) | 769,078円 | 769,078円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型) | 15,855,020円 | 15,855,020円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型) | 19,977円 | 19,977円 |

| | | |
|---|--------------|--------------|
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型) | 554,401円 | 554,401円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)資源国通貨バスケットコース(毎月決算型) | 1,608,548円 | 1,608,548円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)マネー・プール・ファンド(年2回決算型) | 118,864,138円 | 46,054,276円 |
| 米国高利回り社債ファンド(毎月決算型) | 999円 | 999円 |
| 米国高利回り社債・円ファンド(毎月決算型) | 999円 | 999円 |
| 米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド(毎月決算型) | 999円 | 999円 |
| マネー・プール・ファンド | 108,374,784円 | 112,657,494円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)トルコ・リラコース(毎月決算型) | 19,961円 | 19,961円 |
| マネー・プール・ファンド(適格機関投資家専用) | 976,531円 | 976,413円 |
| 国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ)成長型 | 99,562円 | 99,562円 |
| 国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ)分配型 | 99,562円 | 99,562円 |
| 国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし)成長型 | 99,562円 | 99,562円 |
| 国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし)分配型 | 99,561円 | 99,561円 |
| トレンド・アロケーション・オープン | 997,308円 | 997,308円 |
| エマージング社債オープン(毎月決算型)為替ヘッジあり | 99,682円 | 99,682円 |
| エマージング社債オープン(毎月決算型)為替ヘッジなし | 99,682円 | 99,682円 |
| 国際オーストラリア債券オープン(毎月決算型) | 997円 | 997円 |
| リスク・パリティ オープン | 995円 | 995円 |
| 米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)メキシコ・ペソコース(毎月決算型) | 19,925円 | 19,925円 |
| 欧州ハイ・イールド債券ファンド(毎月決算型)為替ヘッジあり | 9,963円 | |
| 欧州ハイ・イールド債券ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなし | 39,849円 | |
| 米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジあり | 996,215円 | 996,215円 |
| 米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジなし | 996,215円 | 996,215円 |
| 国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)為替ヘッジなしコース(毎月決算型) | 99,602円 | 99,602円 |
| 国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)円コース(毎月決算型) | 99,602円 | 99,602円 |
| 国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インド・ルピアコース(毎月決算型) | 99,602円 | 99,602円 |
| 国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型) | 99,602円 | 99,602円 |
| 国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)マレーシア・リングコース(毎月決算型) | 99,602円 | 99,602円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)円コース(1年決算型) | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型) | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)米ドルコース(1年決算型) | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型) | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)ユーロコース(1年決算型) | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)ユーロコース(毎月決算型) | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)豪ドルコース(1年決算型) | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型) | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)ブラジル・レアルコース(1年決算型) | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)ブラジル・レアルコース(毎月決算型) | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)メキシコ・ペソコース(1年決算型) | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)メキシコ・ペソコース(毎月決算型) | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)トルコ・リラコース(1年決算型) | 9,960円 | 9,960円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)トルコ・リラコース(毎月決算型) | 9,960円 | 9,960円 |

| | | |
|--|----------------------|----------------------|
| 国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（1年決算型） | 9,986円 | 9,986円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（毎月決算型） | 9,986円 | 9,986円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）中国元コース（1年決算型） | 9,960円 | 9,960円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）中国元コース（毎月決算型） | 9,960円 | 9,960円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）南アフリカ・ランドコース（1年決算型） | 9,960円 | 9,960円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）南アフリカ・ランドコース（毎月決算型） | 9,960円 | 9,960円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（1年決算型） | 9,986円 | 9,986円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型） | 99,592円 | 99,592円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンド（1年決算型） | 12,687,618円 | 12,683,073円 |
| 国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンド（年2回決算型） | 2,254,821円 | 2,254,416円 |
| 欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジあり） | 4,979円 | 4,979円 |
| 欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジなし） | 4,979円 | 4,979円 |
| US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース（毎月決算型） | 99,562円 | 99,562円 |
| US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型） | 9,957円 | 9,957円 |
| US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース（年2回決算型） | 9,957円 | 9,957円 |
| US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型） | 9,957円 | 9,957円 |
| US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース（年2回決算型） | 9,957円 | 9,957円 |
| 優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース（毎月決算型） | 9,956円 | 9,956円 |
| 優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型） | 9,956円 | 9,956円 |
| 優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型） | 9,956円 | 9,956円 |
| 優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース（年2回決算型） | 9,956円 | 9,956円 |
| 優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース（年2回決算型） | 9,956円 | 9,956円 |
| 優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース（年2回決算型） | 9,956円 | 9,956円 |
| 米国成長株オープン | 996円 | 996円 |
| 世界CoCosオープン 為替プレミアムコース（毎月決算型） | 9,953円 | 9,953円 |
| 世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型） | 9,953円 | 9,953円 |
| 世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型） | 9,953円 | 9,953円 |
| アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）毎月決算型 | 9,952円 | 9,952円 |
| アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）年2回決算型 | 9,952円 | 9,952円 |
| アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）毎月決算型 | 9,952円 | 9,952円 |
| アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）年2回決算型 | 9,952円 | 9,952円 |
| （合計） | 558,326,369円 | 238,965,010円 |
| 2 受益権の総数 | 558,326,369口 | 238,965,010口 |
| 3 1口当たり純資産額 （1万口当たり純資産額） | 1.0051円 (10,051円) | 1.0047円 (10,047円) |

* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

| 区分 | （自平成27年9月25日 至平成28年3月24日） | （自平成28年3月25日 至平成28年9月26日） |
|-------------------------|---|------------------------------|
| 1 金融商品に対する取組方針 | 当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。 | 同左 |
| 2 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク | 当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 | 同左 |

| | | |
|----------------------|--|-----|
| 3 金融商品に係るリスク管理 体制 | 当ファンドに投資する証券投資信託の注記表(金融商品に関する注記)に記載しております。 | 同 左 |
|----------------------|--|-----|

2 金融商品の時価等に関する事項

| 区 分 | [平成28年3月24日現在] | [平成28年9月26日現在] |
|---------------------------|--|--|
| 1 貸借対照表計上額、時価及びその差額 | 時価で計上しているためその差額はありません。 | 同 左 |
| 2 時価の算定方法 | <p>売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p> | <p>売買目的有価証券は、該当事項はありません。</p> <p>同 左</p> <p>同 左</p> |
| 3 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 | 当ファンドに投資する証券投資信託の注記表(金融商品に関する注記)に記載しております。 | 同 左 |

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

| 種 類 | [平成28年3月24日現在] | [平成28年9月26日現在] |
|------|--------------------|--------------------|
| | 当期間の損益に含まれた評価差額(円) | 当期間の損益に含まれた評価差額(円) |
| 国債証券 | 688,000 | |
| 合計 | 688,000 | |

(注) 当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表
該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はありません。

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

平成28年9月30日現在

(単位：円)

| | |
|-----------------|----------------------------|
| 資産総額 | 1,344,577,423 |
| 負債総額 | 876,330 |
| 純資産総額(-) | 1,343,701,093 |
| 発行済口数 | 3,404,379,050 口 |
| 1口当たり純資産価額(/) | 0.3947 (1万口当たり 3,947) |

<参考>

「マネー・プール マザーファンド」の現況

純資産額計算書

平成28年9月30日現在

(単位：円)

| | |
|-----------------|-----------------------------|
| 資産総額 | 224,339,137 |
| 負債総額 | 107 |
| 純資産総額(-) | 224,339,030 |
| 発行済口数 | 223,286,317 口 |
| 1口当たり純資産価額(/) | 1.0047 (1万口当たり 10,047) |

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

<訂正前>

(1) 資本金の額等

平成28年3月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近5年間における資本金の額の増減はありません。

(2) 委託会社の機構

・会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

・投資運用の意思決定機構

投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

運用戦略の決定

運用戦略委員会において、で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部門から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

投資行動のモニタリング1

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。

投資行動のモニタリング2

運用部門から独立した管理担当部署は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

ファンドに係る法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に係る法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、リスク管理委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

運用・管理に関する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

さらに、委託会社は、三菱UFJ信託銀行からの投資環境および全資産に関する助言を活用して、質の高い運用サービスの提供に努めています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

<訂正後>

(1) 資本金の額等

平成28年9月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近5年間における資本金の額の増減はありません。

(2) 委託会社の機構

・ 会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

・ 投資運用の意思決定機構

投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

運用戦略の決定

運用戦略委員会において、で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部門から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

投資行動のモニタリング1

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。

投資行動のモニタリング2

運用部門から独立した管理担当部署は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

ファンドに關係する法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に關係する法人については、その業務に關係する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、リスク管理委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

運用・管理に關係する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に關係する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

さらに、委託会社は、三菱UFJ信託銀行からの投資環境および全資産に関する助言を活用して、質の高い運用サービスの提供に努めています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

<訂正後>の全文を記載します。

<訂正後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行っています。平成28年9月30日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

| 商品分類 | 本数 (本) | 純資産総額 (百万円) |
|------------|-----------|----------------|
| 追加型株式投資信託 | 785 | 10,130,664 |
| 追加型公社債投資信託 | 16 | 1,195,526 |
| 単位型株式投資信託 | 58 | 594,358 |
| 単位型公社債投資信託 | 2 | 59,400 |
| 合計 | 861 | 11,979,948 |

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

3【委託会社等の経理状況】

有価証券報告書の提出に伴い「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 3 委託会社等の経理状況」の全文を訂正いたします。

<訂正後>

(1) 財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱UFJ国際投信株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

財務諸表に掲載している金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(2) 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第31期事業年度（自平成27年4月1日至平成28年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

三菱UFJ投信株式会社は、平成27年7月1日をもって、国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に変更いたしました。

当社の財務諸表に引き続き、合併非存続会社である国際投信投資顧問株式会社の第18期事業年度の財務諸表を参考として添付しております。

(1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

| | 第30期 (平成27年3月31日現在) | | 第31期 (平成28年3月31日現在) | |
|-----------------|------------------------|------------|------------------------|-------------|
| (資産の部) | | | | |
| 流動資産 | | | | |
| 現金及び預金 | 2 | 36,357,893 | 2 | 80,707,781 |
| 有価証券 | | 22,882 | | 2,728,127 |
| 前払費用 | | 176,701 | | 402,267 |
| 未収入金 | | 23,936 | | 14,286 |
| 未収委託者報酬 | | 9,228,869 | | 11,275,577 |
| 未収収益 | 2 | 319,107 | 2 | 564,923 |
| 繰延税金資産 | | 403,942 | | 491,700 |
| 金銭の信託 | 2 | 30,000 | 2 | 30,000 |
| その他 | | 67,760 | | 438,012 |
| 流動資産合計 | | 46,631,094 | | 96,652,678 |
| 固定資産 | | | | |
| 有形固定資産 | | | | |
| 建物 | 1 | 248,246 | 1 | 846,844 |
| 器具備品 | 1 | 168,129 | 1 | 768,584 |
| 土地 | | 1,205,031 | | 1,356,000 |
| 有形固定資産合計 | | 1,621,408 | | 2,971,428 |
| 無形固定資産 | | | | |
| 電話加入権 | | 15,822 | | 15,822 |
| ソフトウェア | | 1,026,791 | | 1,813,951 |
| ソフトウェア仮勘定 | | 156,784 | | 341,815 |
| その他 | | | | 71 |
| 無形固定資産合計 | | 1,199,398 | | 2,171,661 |
| 投資その他の資産 | | | | |
| 投資有価証券 | | 22,358,170 | | 24,223,272 |
| 関係会社株式 | | 320,136 | | 320,136 |
| 長期差入保証金 | 2 | 1,477,422 | | 686,446 |
| 前払年金費用 | | | | 499,178 |
| 繰延税金資産 | | | | 786,810 |
| その他 | | 15,035 | | 51,090 |
| 貸倒引当金 | | | | 23,600 |
| 投資その他の資産合計 | | 24,170,765 | | 26,543,335 |
| 固定資産合計 | | 26,991,572 | | 31,686,425 |
| 資産合計 | | 73,622,666 | | 128,339,103 |

(単位：千円)

| | 第30期 (平成27年3月31日現在) | | 第31期 (平成28年3月31日現在) | |
|----------------|------------------------|------------|------------------------|-------------|
| (負債の部) | | | | |
| 流動負債 | | | | |
| 預り金 | | 133,735 | | 199,091 |
| 未払金 | | | | |
| 未払収益分配金 | | 91,148 | | 101,046 |
| 未払償還金 | | 842,143 | | 821,178 |
| 未払手数料 | 2 | 4,058,921 | 2 | 4,866,423 |
| その他未払金 | 2 | 1,870,235 | 2 | 2,521,849 |
| 未払費用 | 2 | 2,601,694 | 2 | 3,419,978 |
| 未払消費税等 | | 821,991 | | 370,110 |
| 未払法人税等 | | 978,570 | | 947,540 |
| 賞与引当金 | | 531,214 | | 882,523 |
| その他 | | 474,361 | | 670,983 |
| 流動負債合計 | | 12,404,016 | | 14,800,725 |
| 固定負債 | | | | |
| 退職給付引当金 | | 72,860 | | 508,142 |
| 役員退職慰労引当金 | | 54,457 | | 166,789 |
| 時効後支払損引当金 | | 179,272 | | 257,105 |
| 繰延税金負債 | | 521,091 | | |
| 固定負債合計 | | 827,682 | | 932,038 |
| 負債合計 | | 13,231,698 | | 15,732,763 |
| (純資産の部) | | | | |
| 株主資本 | | | | |
| 資本金 | | 2,000,131 | | 2,000,131 |
| 資本剰余金 | | | | |
| 資本準備金 | | 222,096 | | 3,572,096 |
| その他資本剰余金 | | | | 41,160,616 |
| 資本剰余金合計 | | 222,096 | | 44,732,712 |
| 利益剰余金 | | | | |
| 利益準備金 | | 342,589 | | 342,589 |
| その他利益剰余金 | | | | |
| 別途積立金 | | 6,998,000 | | 6,998,000 |
| 繰越利益剰余金 | | 48,527,422 | | 57,079,782 |
| 利益剰余金合計 | | 55,868,012 | | 64,420,372 |
| 株主資本合計 | | 58,090,240 | | 111,153,216 |

(単位：千円)

| | 第30期 (平成27年3月31日現在) | 第31期 (平成28年3月31日現在) |
|------------|------------------------|------------------------|
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券 | | |
| 評価差額金 | 2,300,727 | 1,446,576 |
| 繰延ヘッジ損益 | | 6,546 |
| 評価・換算差額等合計 | 2,300,727 | 1,453,123 |
| 純資産合計 | 60,390,967 | 112,606,339 |
| 負債純資産合計 | 73,622,666 | 128,339,103 |

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

| | 第30期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) | | 第31期 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日) | |
|-------------|---------------------------------------|------------|---------------------------------------|------------|
| 営業収益 | | | | |
| 委託者報酬 | | 55,991,189 | | 82,096,942 |
| 投資顧問料 | | 977,515 | | 2,226,322 |
| その他営業収益 | | 64,153 | | 35,063 |
| 営業収益合計 | | 57,032,858 | | 84,358,328 |
| 営業費用 | | | | |
| 支払手数料 | 2 | 23,818,405 | 2 | 34,821,751 |
| 広告宣伝費 | | 535,944 | | 742,632 |
| 公告費 | | 159 | | |
| 調査費 | | | | |
| 調査費 | | 1,033,649 | | 1,642,352 |
| 委託調査費 | | 11,249,449 | | 14,530,744 |
| 事務委託費 | | 384,717 | | 751,410 |
| 営業雑経費 | | | | |
| 通信費 | | 96,330 | | 122,574 |
| 印刷費 | | 501,608 | | 704,639 |
| 協会費 | | 37,491 | | 51,201 |
| 諸会費 | | 7,500 | | 7,730 |
| 事務機器関連費 | | 1,106,507 | | 1,674,745 |
| その他営業雑経費 | | 25,589 | | 30,382 |
| 営業費用合計 | | 38,797,354 | | 55,080,164 |
| 一般管理費 | | | | |
| 給料 | | | | |
| 役員報酬 | | 217,230 | | 280,681 |
| 給料・手当 | | 3,861,536 | | 5,948,603 |
| 賞与引当金繰入 | | 531,214 | | 882,523 |
| 福利厚生費 | | 624,046 | | 1,091,897 |
| 交際費 | | 19,399 | | 17,062 |
| 旅費交通費 | | 144,427 | | 212,578 |
| 租税公課 | | 151,546 | | 264,376 |
| 不動産賃借料 | | 695,761 | | 795,415 |
| 退職給付費用 | | 131,361 | | 341,073 |
| 役員退職慰労引当金繰入 | | 27,418 | | 34,369 |
| 固定資産減価償却費 | | 502,450 | | 1,068,796 |
| 諸経費 | | 350,379 | | 426,547 |
| 一般管理費合計 | | 7,256,773 | | 11,363,925 |
| 営業利益 | | 10,978,730 | | 17,914,238 |

(単位：千円)

| | 第30期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) | | 第31期 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日) | |
|--------------|---------------------------------------|------------|---------------------------------------|------------|
| 営業外収益 | | | | |
| 受取配当金 | | 338,814 | | 235,697 |
| 有価証券利息 | 2 | 885 | | 523 |
| 受取利息 | 2 | 14,761 | 2 | 15,142 |
| 投資有価証券償還益 | | 661,460 | | 9,315 |
| 収益分配金等時効完成分 | | 91,184 | | 71,619 |
| その他 | | 39,204 | | 17,393 |
| 営業外収益合計 | | 1,146,311 | | 349,691 |
| 営業外費用 | | | | |
| 投資有価証券償還損 | | | | 152,298 |
| 時効後支払損引当金繰入 | | | | 98,891 |
| 事務過誤費 | | 12,183 | | 421 |
| その他 | | 948 | | 5,862 |
| 営業外費用合計 | | 13,132 | | 257,473 |
| 経常利益 | | 12,111,909 | | 18,006,455 |
| 特別利益 | | | | |
| 投資有価証券売却益 | | 822,382 | | 424,605 |
| ゴルフ会員権売却益 | | | | 1,300 |
| 特別利益合計 | | 822,382 | | 425,905 |
| 特別損失 | | | | |
| 投資有価証券売却損 | | 16,139 | | 52,623 |
| 有価証券評価損 | | | | 67,284 |
| 投資有価証券評価損 | | 46,720 | | 18,539 |
| 固定資産除却損 | 1 | 27,530 | 1 | 1,305 |
| 減損損失 | | | 3 | 42,073 |
| 合併関連費用 | | 24,938 | | 829,181 |
| 特別損失合計 | | 115,327 | | 1,011,007 |
| 税引前当期純利益 | | 12,818,964 | | 17,421,353 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2 | 4,549,367 | 2 | 5,796,941 |
| 法人税等調整額 | | 70,070 | | 1,035,591 |
| 法人税等合計 | | 4,619,438 | | 4,761,350 |
| 当期純利益 | | 8,199,525 | | 12,660,003 |

（３）【株主資本等変動計算書】

第30期（自平成26年4月1日至平成27年3月31日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | | | | 株主資本合計 |
|---------------------|-----------|---------|---------|---------|-----------|------------|------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益準備金 | 利益剰余金 | | 利益剰余金合計 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | | その他利益剰余金 | | | |
| | | | | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 2,000,131 | 222,096 | 222,096 | 342,589 | 6,998,000 | 43,710,993 | 51,051,583 | 53,273,811 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | | 7,631 | 7,631 | 7,631 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 2,000,131 | 222,096 | 222,096 | 342,589 | 6,998,000 | 43,703,362 | 51,043,952 | 53,266,179 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | 3,375,465 | 3,375,465 | 3,375,465 |
| 当期純利益 | | | | | | 8,199,525 | 8,199,525 | 8,199,525 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | | | | | | 4,824,060 | 4,824,060 | 4,824,060 |
| 当期末残高 | 2,000,131 | 222,096 | 222,096 | 342,589 | 6,998,000 | 48,527,422 | 55,868,012 | 58,090,240 |

| | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|------------|------------|
| | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | 1,669,167 | 1,669,167 | 54,942,978 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | 7,631 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 1,669,167 | 1,669,167 | 54,935,347 |
| 当期変動額 | | | |
| 剰余金の配当 | | | 3,375,465 |
| 当期純利益 | | | 8,199,525 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 631,560 | 631,560 | 631,560 |
| 当期変動額合計 | 631,560 | 631,560 | 5,455,620 |
| 当期末残高 | 2,300,727 | 2,300,727 | 60,390,967 |

第31期（自平成27年4月1日至平成28年3月31日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|------------|------------|---------|-----------|------------|------------|-------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益準備金 | その他利益剰余金 | | 利益剰余金合計 | 株主資本合計 |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 2,000,131 | 222,096 | | 222,096 | 342,589 | 6,998,000 | 48,527,422 | 55,868,012 | 58,090,240 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | 4,107,643 | 4,107,643 | 4,107,643 |
| 当期純利益 | | | | | | | 12,660,003 | 12,660,003 | 12,660,003 |
| 合併による増加 | | 3,350,000 | 41,160,616 | 44,510,616 | | | | | 44,510,616 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | | 3,350,000 | 41,160,616 | 44,510,616 | | | 8,552,359 | 8,552,359 | 53,062,976 |
| 当期末残高 | 2,000,131 | 3,572,096 | 41,160,616 | 44,732,712 | 342,589 | 6,998,000 | 57,079,782 | 64,420,372 | 111,153,216 |

| | 評価・換算差額等 | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------|------------|-------------|
| | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | 評価・換算差額等合計 | |
| 当期首残高 | 2,300,727 | | 2,300,727 | 60,390,967 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | 4,107,643 |
| 当期純利益 | | | | 12,660,003 |
| 合併による増加 | 903,495 | 148,745 | 754,749 | 45,265,365 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 1,757,645 | 155,292 | 1,602,353 | 1,602,353 |
| 当期変動額合計 | 854,150 | 6,546 | 847,604 | 52,215,371 |
| 当期末残高 | 1,446,576 | 6,546 | 1,453,123 | 112,606,339 |

[注記事項]

（重要な会計方針）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

3. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 5年～50年

器具備品 2年～20年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(5)時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

6.ヘッジ会計の方法

(1)ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。

(2)ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段...株式指数先物

ヘッジ対象...投資有価証券

(3)ヘッジ方針

株価変動リスクの低減のため、対象資産の範囲内でヘッジを行っております。

(4)ヘッジの有効性評価の方法

ヘッジ開始から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象とヘッジ手段の相場変動の累計を比較し、両者の変動額等を基礎にして判断しております。

7.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1)消費税等の会計処理

税抜方式を採用しており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

(2)連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(貸借対照表関係)

1.有形固定資産の減価償却累計額

| | 第30期 (平成27年3月31日現在) | 第31期 (平成28年3月31日現在) |
|------|------------------------|------------------------|
| 建物 | 281,481千円 | 467,206千円 |
| 器具備品 | 433,077千円 | 897,207千円 |

2.関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

| | 第30期 (平成27年3月31日現在) | 第31期 (平成28年3月31日現在) |
|---------|------------------------|------------------------|
| 預金 | 33,450,301千円 | 43,128,360千円 |
| 未収収益 | 27,125千円 | 52,753千円 |
| 金銭の信託 | 30,000千円 | 30,000千円 |
| 長期差入保証金 | 792,370千円 | -千円 |
| 未払手数料 | 2,894,875千円 | 2,612,168千円 |
| その他未払金 | 1,731,659千円 | 2,296,632千円 |
| 未払費用 | 244,325千円 | 442,340千円 |

(損益計算書関係)

1. 固定資産除却損の内訳

| | 第30期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) | 第31期 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日) |
|--------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 建物 | - 千円 | 254千円 |
| 器具備品 | 0千円 | 1,051千円 |
| ソフトウェア | 27,530千円 | - 千円 |
| 計 | 27,530千円 | 1,305千円 |

2. 関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

| | 第30期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) | 第31期 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日) |
|--------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 支払手数料 | 12,949,353千円 | 15,120,269千円 |
| 有価証券利息 | 224千円 | - 千円 |
| 受取利息 | 14,761千円 | 12,609千円 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,895,803千円 | 3,980,844千円 |

3. 減損損失

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

| 場所 | 用途 | 種類 | 減損損失 |
|-------------|-----------|------|----------|
| 静岡県裾野市 | 遊休資産（不動産） | 土地 | 35,031千円 |
| 東京都千代田区（本社） | 遊休資産（美術品） | 器具備品 | 7,041千円 |

当社は資産運用業の単一セグメントであるため、事業用資産に区別はなく、全社を1つのグルーピングとしております。遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

当事業年度において、事業の用に供していない遊休資産のうち、時価が著しく下落した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、当資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、土地、美術品については外部鑑定評価額により評価しております。

(株主資本等変動計算書関係)

第30期（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| | 当事業年度期首 株式数（株） | 当事業年度増加 株式数（株） | 当事業年度減少 株式数（株） | 当事業年度末 株式数（株） |
|-------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 | 124,098 | - | - | 124,098 |
| 合計 | 124,098 | - | - | 124,098 |

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成26年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

| | |
|----------|-------------|
| 配当金の総額 | 3,375,465千円 |
| 1株当たり配当額 | 27,200円 |
| 基準日 | 平成26年3月31日 |
| 効力発生日 | 平成26年6月30日 |

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成27年6月30日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

| | |
|----------|-------------|
| 配当金の総額 | 4,107,643千円 |
| 配当の原資 | 利益剰余金 |
| 1株当たり配当額 | 33,100円 |
| 基準日 | 平成27年3月31日 |
| 効力発生日 | 平成27年6月30日 |

第31期（自平成27年4月1日至平成28年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| | 当事業年度期首 株式数 (株) | 当事業年度増加 株式数 (株) | 当事業年度減少 株式数 (株) | 当事業年度末 株式数 (株) |
|---------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式（注） | 124,098 | 87,483 | - | 211,581 |
| 合計 | 124,098 | 87,483 | - | 211,581 |

（注）普通株式の発行済株式総数の増加は、平成27年7月1日に、国際投信投資顧問株式会社との間で吸収合併方式による経営統合を行ない、同社の普通株式1株に対して当社の普通株式10.0497株を交付したことによる増加であります。

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成27年6月30日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

| | |
|----------|-------------|
| 配当金の総額 | 4,107,643千円 |
| 1株当たり配当額 | 33,100円 |
| 基準日 | 平成27年3月31日 |
| 効力発生日 | 平成27年6月30日 |

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成28年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

| | |
|----------|--------------|
| 配当金の総額 | 26,807,312千円 |
| 配当の原資 | 利益剰余金 |
| 1株当たり配当額 | 126,700円 |
| 基準日 | 平成28年3月31日 |
| 効力発生日 | 平成28年6月29日 |

（リース取引関係）

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

| | 第30期 (平成27年3月31日) | 第31期 (平成28年3月31日) |
|-----|----------------------|----------------------|
| 1年内 | - 千円 | 678,116千円 |
| 1年超 | - 千円 | 2,651,815千円 |
| 合計 | - 千円 | 3,329,932千円 |

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、譲渡性預金または投資信託に限定しており、金融機関からの資金調達は行っておりません。デリバティブ取引は、後述するリスクを回避するために利用しており、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。なお、一部の投資信託の価格変動リスクに対して、デリバティブ取引を利用してヘッジしております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。また、注記事項「デリバティブ取引関係」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第30期（平成27年3月31日現在）

| | 貸借対照表 計上額（千円） | 時価（千円） | 差額（千円） |
|-------------|------------------|------------|--------|
| (1) 現金及び預金 | 36,357,893 | 36,357,893 | - |
| (2) 有価証券 | 22,882 | 22,882 | - |
| (3) 未収委託者報酬 | 9,228,869 | 9,228,869 | - |
| (4) 投資有価証券 | 22,319,270 | 22,319,270 | - |
| 資産計 | 67,928,915 | 67,928,915 | - |
| (1) 未払手数料 | 4,058,921 | 4,058,921 | - |
| 負債計 | 4,058,921 | 4,058,921 | - |

第31期（平成28年3月31日現在）

| | 貸借対照表 計上額（千円） | 時価（千円） | 差額（千円） |
|-------------|------------------|-------------|--------|
| (1) 現金及び預金 | 80,707,781 | 80,707,781 | - |
| (2) 有価証券 | 2,728,127 | 2,728,127 | - |
| (3) 未収委託者報酬 | 11,275,577 | 11,275,577 | - |
| (4) 投資有価証券 | 24,054,542 | 24,054,542 | - |
| 資産計 | 118,766,029 | 118,766,029 | - |
| (1) 未払手数料 | 4,866,423 | 4,866,423 | - |
| 負債計 | 4,866,423 | 4,866,423 | - |
| デリバティブ取引（ ） | (3,459) | (3,459) | - |

デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については（ ）で表示しております。

（注1）金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項
資 産

(1)現金及び預金、(3)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2)有価証券、(4)投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、投資信託は基準価額によっております。

負 債

(1)未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

デリバティブ取引

注記事項「デリバティブ取引関係」をご参照ください。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

| 区分 | 第30期 (平成27年3月31日現在) | 第31期 (平成28年3月31日現在) |
|--------|------------------------|------------------------|
| 非上場株式 | 38,900 | 168,730 |
| 子会社株式 | 160,600 | 160,600 |
| 関連会社株式 | 159,536 | 159,536 |

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第30期（平成27年3月31日現在）

（単位：千円）

| | 1年以内 | 1年超 5年以内 | 5年超 10年以内 | 10年超 |
|-------------------|------------|-------------|--------------|-------|
| 現金及び預金 | 36,357,893 | - | - | - |
| 未収委託者報酬 | 9,228,869 | - | - | - |
| 有価証券及び投資有価証券 | | | | |
| その他有価証券のうち満期があるもの | | | | |
| 投資信託 | 22,882 | 5,289,067 | 8,651,010 | 2,275 |
| 合計 | 45,609,645 | 5,289,067 | 8,651,010 | 2,275 |

第31期（平成28年3月31日現在）

（単位：千円）

| | 1年以内 | 1年超 5年以内 | 5年超 10年以内 | 10年超 |
|-------------------|------------|-------------|--------------|-------|
| 現金及び預金 | 80,707,781 | - | - | - |
| 未収委託者報酬 | 11,275,577 | - | - | - |
| 有価証券及び投資有価証券 | | | | |
| その他有価証券のうち満期があるもの | | | | |
| 投資信託 | 2,728,127 | 9,234,321 | 9,756,778 | 5,050 |
| 合計 | 94,711,487 | 9,234,321 | 9,756,778 | 5,050 |

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（当事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円、前事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

第30期（平成27年3月31日現在）

| | 種類 | 貸借対照表計上額 (千円) | 取得原価 (千円) | 差額(千円) |
|--------------------------|-----|------------------|--------------|-----------|
| 貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの | 株式 | - | - | - |
| | 債券 | - | - | - |
| | その他 | 18,166,008 | 14,990,554 | 3,175,453 |
| | 小計 | 18,166,008 | 14,990,554 | 3,175,453 |
| 貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの | 株式 | - | - | - |
| | 債券 | - | - | - |
| | その他 | 4,176,144 | 4,222,888 | 46,743 |
| | 小計 | 4,176,144 | 4,222,888 | 46,743 |
| 合計 | | 22,342,152 | 19,213,442 | 3,128,710 |

第31期（平成28年3月31日現在）

| | 種類 | 貸借対照表計上額 （千円） | 取得原価 （千円） | 差額（千円） |
|--------------------------|-----|------------------|--------------|-----------|
| 貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの | 株式 | 113,875 | 30,541 | 83,333 |
| | 債券 | - | - | - |
| | その他 | 19,085,937 | 16,697,402 | 2,388,535 |
| | 小計 | 19,199,812 | 16,727,944 | 2,471,868 |
| 貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの | 株式 | - | - | - |
| | 債券 | - | - | - |
| | その他 | 7,582,857 | 7,969,134 | 386,277 |
| | 小計 | 7,582,857 | 7,969,134 | 386,277 |
| 合計 | | 26,782,669 | 24,697,079 | 2,085,590 |

3. 売却したその他有価証券

第30期（自平成26年4月1日至平成27年3月31日）

| 種類 | 売却額（千円） | 売却益の合計額（千円） | 売却損の合計額（千円） |
|-----|-----------|-------------|-------------|
| 株式 | - | - | - |
| 債券 | - | - | - |
| その他 | 6,350,253 | 822,382 | 16,139 |
| 合計 | 6,350,253 | 822,382 | 16,139 |

第31期（自平成27年4月1日至平成28年3月31日）

| 種類 | 売却額（千円） | 売却益の合計額（千円） | 売却損の合計額（千円） |
|-----|-----------|-------------|-------------|
| 株式 | - | - | - |
| 債券 | - | - | - |
| その他 | 5,649,814 | 424,605 | 52,623 |
| 合計 | 5,649,814 | 424,605 | 52,623 |

4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について46,720千円（その他有価証券のその他46,720千円）減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について85,823千円（その他有価証券のその他85,823千円）減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

（デリバティブ取引関係）

第30期（自平成26年4月1日至平成27年3月31日）

重要な取引はありません。

第31期（自平成27年4月1日至平成28年3月31日）

- ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引
重要な取引はありません。
- ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

（単位：千円）

| ヘッジ会計の方法 | 取引の種類 | 主なヘッジ対象 | 契約額等 | 契約額等のうち 1年超 | 時価 |
|-------------|----------------|---------|---------|----------------|-------|
| 原則的処理 方法 | 株式指数先物取引 売建 | 投資有価証券 | 945,410 | - | 3,459 |
| 合計 | | | 945,410 | - | 3,459 |

（注）時価の算定方法

大阪取引所が定める清算指数によっております。

（退職給付関係）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度）及び退職一時金制度（非積立型制度）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

| | 第30期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日) | 第31期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日) |
|--------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 退職給付債務の期首残高 | 325,496 千円 | 263,476 千円 |
| 勤務費用 | 880 | 135,457 |
| 利息費用 | 971 | 19,818 |
| 数理計算上の差異の発生額 | 652 | 113,714 |
| 退職給付の支払額 | 64,524 | 159,115 |
| 合併による増加 | - | 2,624,579 |
| 退職給付債務の期末残高 | 263,476 | 2,997,931 |

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

| | 第30期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日) | 第31期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日) |
|--------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 年金資産の期首残高 | 163,205 千円 | 196,439 千円 |
| 期待運用収益 | 2,448 | 35,926 |
| 数理計算上の差異の発生額 | 6,477 | 111,449 |
| 事業主からの拠出額 | 88,833 | 210,960 |
| 退職給付の支払額 | 64,524 | 139,379 |
| 合併による増加 | - | 2,486,329 |
| 年金資産の期末残高 | 196,439 | 2,678,827 |

(3)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

| | 第30期 (平成27年3月31日現在) | 第31期 (平成28年3月31日現在) |
|---------------------|------------------------|------------------------|
| 積立型制度の退職給付債務 | 260,846 千円 | 2,422,447 千円 |
| 年金資産 | 196,439 | 2,678,827 |
| | 64,406 | 256,380 |
| 非積立型制度の退職給付債務 | 2,630 | 575,484 |
| 未積立退職給付債務 | 67,036 | 319,103 |
| 未認識数理計算上の差異 | 5,824 | 310,139 |
| 貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | 72,860 | 8,964 |
| 退職給付引当金 | 72,860 | 508,142 |
| 前払年金費用 | - | 499,178 |
| 貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | 72,860 | 8,964 |

(4)退職給付費用及びその内訳項目の金額

| | 第30期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日) | 第31期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日) |
|-----------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 勤務費用 | 880 千円 | 135,457 千円 |
| 利息費用 | 971 | 19,818 |
| 期待運用収益 | 2,448 | 35,926 |
| 数理計算上の差異の費用処理額 | 4,257 | 13,847 |
| その他 | 24,509 | 65,395 |
| 確定給付制度に係る退職給付費用 | 19,655 | 198,592 |

(注)「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額等です。

(5)年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

| | 第30期 (平成27年3月31日現在) | 第31期 (平成28年3月31日現在) |
|-----|------------------------|------------------------|
| 債券 | 38.3 % | 58.1 % |
| 株式 | 14.9 | 35.5 |
| その他 | 46.8 | 6.3 |
| 合計 | 100 | 100 |

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6)数理計算上の計算基礎に関する事項
 主要な数理計算上の計算基礎

| | 第30期 (平成27年3月31日現在) | 第31期 (平成28年3月31日現在) |
|-----------|------------------------|------------------------|
| 割引率 | 0.2% | 0.077～0.71% |
| 長期期待運用収益率 | 1.5% | 1.5～1.8% |

3.確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度111,706千円、当事業年度142,480千円でありま
 す。

(税効果会計関係)

1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

| | 第30期 (平成27年3月31日現在) | 第31期 (平成28年3月31日現在) |
|---------------|------------------------|------------------------|
| 繰延税金資産 | | |
| 減損損失 | 466,806千円 | 475,116千円 |
| 投資有価証券評価損 | 18,586 | 238,391 |
| ゴルフ会員権評価損 | 7,717 | 295 |
| 未払事業税 | 197,017 | 185,473 |
| 賞与引当金 | 175,831 | 272,346 |
| 役員退職慰労引当金 | 17,611 | 51,071 |
| 退職給付引当金 | 24,096 | 155,593 |
| 減価償却超過額 | 8,993 | 29,059 |
| 委託者報酬 | 153,408 | 204,395 |
| 長期差入保証金 | 31,593 | 6,344 |
| 時効後支払損引当金 | 57,976 | 78,725 |
| 連結納税適用による時価評価 | - | 309,675 |
| その他 | 37,427 | 69,525 |
| 繰延税金資産 小計 | 1,197,069 | 2,076,013 |
| 評価性引当額 | 486,235 | - |
| 繰延税金資産 合計 | 710,834 | 2,076,013 |
| 繰延税金負債 | | |
| 未収配当金 | - | 1,228 |
| 前払年金費用 | - | 152,848 |
| 連結納税適用による時価評価 | - | 1,516 |
| その他有価証券評価差額金 | 827,982 | 639,013 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 2,889 |
| その他 | - | 6 |
| 繰延税金負債 合計 | 827,982 | 797,502 |
| 繰延税金資産の純額 | 117,148 | 1,278,511 |

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

| | 第30期 (平成27年3月31日現在) | 第31期 (平成28年3月31日現在) |
|----------------------|--|------------------------|
| 法定実効税率 (調整) | | 33.06 % |
| 評価性引当額の減少 | 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。 | 6.34 |
| 税率変更による期末繰延税金資産の減額修正 | | 0.59 |
| その他 | | 0.02 |
| 税効果会計適用後の法人税等の負担率 | | 27.33 |

3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は前事業年度の32.34%から、平成28年4月1日に開始する事業年度及び平成29年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については30.86%に、平成30年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については30.62%に変更されております。

この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は67,688千円減少し、法人税等調整額が103,317千円、その他有価証券評価差額金が35,466千円、繰延ヘッジ損益が162千円、それぞれ増加しております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

当社は、平成27年6月30日開催の定時株主総会における承認を経て、国際投信投資顧問株式会社と合併いたしました。

(1) 取引の概要

被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 国際投信投資顧問株式会社

事業の内容 投資運用業、投資助言・代理業

企業結合日

平成27年7月1日

企業結合の法的形式

三菱UFJ投信株式会社を吸収合併存続会社、国際投信投資顧問株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併

結合後企業の名称

三菱UFJ国際投信株式会社

企業結合の目的

両投信会社の商品・販売チャネルの補完性を活かすとともに、更なる運用力の強化と経営の効率化を図り、お客様の中長期の資産形成に資する、より良質で付加価値の高い資産運用サービスを提供できる体制を構築することを目的としております。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分）に基づき、共通支配下の取引として処理いたしました。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第30期（自平成26年4月1日至平成27年3月31日）及び第31期（自平成27年4月1日至平成28年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第30期（自平成26年4月1日至平成27年3月31日）及び第31期（自平成27年4月1日至平成28年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第30期（自平成26年4月1日至平成27年3月31日）

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金 | 事業の内容 | 議決権等の所有 (被所有) 割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 | 科目 | 期末残高 |
|------|--------------------|---------|------------------|---------|-----------------------------------|---|---|--|--------------------------|---|
| 親会社 | ㈱三菱UFJフィナンシャル・グループ | 東京都千代田区 | 2,141,513 百万円 | 銀行持株会社業 | 被所有 直接 25.0% 間接 75.0% | 連結納税 役員の兼任 | 連結納税に伴う支払 | 2,895,803 千円 | その他未払金 | 1,731,659 千円 |
| 親会社 | 三菱UFJ信託銀行㈱ | 東京都千代田区 | 324,279 百万円 | 信託業、銀行業 | 被所有 直接 50.0% | 当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等 事務所の賃借 投資の助言 役員の兼任 | 投資信託に係る事務代行手数料の支払 事務所賃借料 投資助言料 | 4,974,381 千円 671,086 千円 260,044 千円 | 未払手数料 長期差入保証金 未払費用 | 670,653 千円 787,856 千円 158,208 千円 |
| 主要株主 | ㈱三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区 | 1,711,958 百万円 | 銀行業 | 被所有 直接 25.0% | 当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等 取引銀行 | 投資信託に係る事務代行手数料の支払 譲渡性預金の預入 譲渡性預金に係る受取利息 マルチコーラブル預金の預入 マルチコーラブル預金に係る受取利息 | 7,974,972 千円 3,000,000 千円 224 千円 9,000,000 千円 10,710 千円 | 未払手数料 現金及び預金 未収収益 | 2,224,222 千円 9,000,000 千円 247 千円 |

第31期（自平成27年4月1日至平成28年3月31日）

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金 | 事業の内容 | 議決権等の所有(被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 | 科目 | 期末残高 |
|------|----------------------|---------|--------------|---------|----------------|---|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------|---------------------------------|
| 親会社 | (株)三菱UFJフィナンシャル・グループ | 東京都千代田区 | 2,141,513百万円 | 銀行持株会社業 | 被所有間接100.0% | 連結納税 役員の兼任 | 連結納税に伴う支払 | 3,980,844千円 | その他未払金 | 2,296,632千円 |
| 親会社 | 三菱UFJ信託銀行(株) | 東京都千代田区 | 324,279百万円 | 信託業、銀行業 | 被所有直接51.0% | 当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等 事務所の賃借 | 投資信託に係る事務代行手数料の支払 事務所賃借料 | 5,895,622千円 223,695千円 | 未払手数料 | 805,721千円 |
| 主要株主 | (株)三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区 | 1,711,958百万円 | 銀行業 | 被所有直接15.0% | 当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等 取引銀行 | 投資信託に係る事務代行手数料の支払 コーラブル預金の預入 | 9,224,647千円 35,000,000千円 | 未払手数料 現金及び預金 | 1,806,446千円 35,000,000千円 |
| | | | | | | | コーラブル預金に係る受取利息 | 9,263千円 | 未収収益 | 2,372千円 |

（注）取引条件及び取引条件の決定方針等

連結納税については、連結納税制度に基づく連結法人税の支払予定額であります。

投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

事務所敷金及び賃借料については、市場実勢等を勘案して決定しております。

投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。

預金利率の条件は、市場金利等を勘案して決定しております。なお、預入期間は3ヶ月～3年であります。

上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

(2)財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等
第30期（自平成26年4月1日至平成27年3月31日）

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金 | 事業の内容 | 議決権等の所有 (被所有) 割合 | 関連当事者 との関係 | 取引の内容 | 取引金額 | 科目 | 期末残高 |
|-------------|------------------------|-------------|---------------|-------|------------------------|-------------------------------|-------------------|-----------------|-------|---------------|
| 同一の親会社を持つ会社 | 三菱UFJ モルガン・スタンレー証券㈱ | 東京都 千代田区 | 40,500 百万円 | 証券業 | なし | 当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等 | 投資信託に係る事務代行手数料の支払 | 4,305,212 千円 | 未払手数料 | 483,155 千円 |

第31期（自平成27年4月1日至平成28年3月31日）

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金 | 事業の内容 | 議決権等の所有 (被所有) 割合 | 関連当事者 との関係 | 取引の内容 | 取引金額 | 科目 | 期末残高 |
|-------------|------------------------|-------------|---------------|-------|------------------------|-------------------------------|-------------------|-----------------|-------|---------------|
| 同一の親会社を持つ会社 | 三菱UFJ モルガン・スタンレー証券㈱ | 東京都 千代田区 | 40,500 百万円 | 証券業 | なし | 当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等 | 投資信託に係る事務代行手数料の支払 | 6,398,782 千円 | 未払手数料 | 898,096 千円 |

(注)取引条件及び取引条件の決定方針等

投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2.親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）

三菱UFJ信託銀行株式会社（非上場）

（1株当たり情報）

| | 第30期 （自平成26年4月1日 至平成27年3月31日） | 第31期 （自平成27年4月1日 至平成28年3月31日） |
|--------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1株当たり純資産額 | 486,639.33円 | 532,213.85円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 66,072.98円 | 66,691.34円 |

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 第30期 （自平成26年4月1日 至平成27年3月31日） | 第31期 （自平成27年4月1日 至平成28年3月31日） |
|------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 当期純利益金額（千円） | 8,199,525 | 12,660,003 |
| 普通株主に帰属しない金額（千円） | - | - |
| 普通株式に係る当期純利益金額 （千円） | 8,199,525 | 12,660,003 |
| 期中平均株式数（株） | 124,098 | 189,829 |

(参考) 国際投信投資顧問株式会社の経理状況

当該(参考)において、国際投信投資顧問株式会社を「当社」という。

1. 当社の財務諸表は「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の規定に基づき「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)により作成しております。
2. 財務諸表の記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
3. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第18期事業年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

独立監査人の監査報告書

平成27年6月30日

国際投信投資顧問株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 森重 俊寛 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 宮田 八郎 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている国際投信投資顧問株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第18期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、国際投信投資顧問株式会社の平成27年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成27年4月30日に三菱UFJ投信株式会社と合併契約を締結した。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、当社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。

(1)貸借対照表

| | | 第17期 (平成26年3月31日現在) | | 第18期 (平成27年3月31日現在) | |
|-----------|----------|------------------------|------------|------------------------|------------|
| 区分 | 注記 番号 | 金額(千円) | | 金額(千円) | |
| (資産の部) | | | | | |
| 流動資産 | | | | | |
| 預金 | | | 3,954,210 | | 6,326,139 |
| 有価証券 | | | 20,259,251 | | 12,221,461 |
| 前払費用 | | | 72,804 | | 74,664 |
| 未収委託者報酬 | | | 2,977,222 | | 3,472,417 |
| 未収収益 | | | 232,197 | | 185,024 |
| 繰延税金資産 | | | 275,970 | | 356,506 |
| その他 | 1 | | 47,462 | | 94,375 |
| 流動資産計 | | | 27,819,119 | | 22,730,588 |
| 固定資産 | | | | | |
| 有形固定資産 | | | 568,996 | | 423,895 |
| 建物 | 2 | 211,289 | | 70,370 | |
| 器具備品 | 2 | 171,707 | | 167,525 | |
| 土地 | | 186,000 | | 186,000 | |
| 無形固定資産 | | | 1,153,814 | | 1,268,125 |
| ソフトウェア | | 1,153,620 | | 1,216,565 | |
| ソフトウェア仮勘定 | | - | | 51,427 | |
| その他 | | 193 | | 132 | |
| 投資その他の資産 | | | 62,409,350 | | 45,376,287 |
| 投資有価証券 | 1 | 61,482,439 | | 44,588,082 | |
| 従業員貸付金 | | 4,095 | | 2,475 | |
| 長期差入保証金 | | 476,321 | | 350,058 | |
| 繰延税金資産 | | 195,987 | | - | |
| その他 | | 321,307 | | 506,470 | |
| 貸倒引当金 | | 70,800 | | 70,800 | |
| 固定資産計 | | | 64,132,161 | | 47,068,308 |
| 資産合計 | | | 91,951,280 | | 69,798,897 |

| 区分 | 注記 番号 | 第17期 (平成26年3月31日現在) | | 第18期 (平成27年3月31日現在) | |
|------------------|----------|------------------------|------------|------------------------|------------|
| | | 金額(千円) | | 金額(千円) | |
| (負債の部) | | | | | |
| 流動負債 | | | | | |
| 預り金 | | | 45,997 | | 150,430 |
| 未払金 | | | 1,556,991 | | 2,357,646 |
| 未払収益分配金 | | 977 | | 850 | |
| 未払償還金 | | 61,457 | | 59,668 | |
| 未払手数料 | | 1,253,078 | | 1,521,415 | |
| その他未払金 | | 241,477 | | 775,711 | |
| 未払費用 | | | 931,078 | | 1,091,231 |
| 未払法人税等 | | | 1,743,743 | | 1,626,371 |
| 賞与引当金 | | | 389,748 | | 424,992 |
| 役員賞与引当金 | | | 51,500 | | 42,600 |
| その他 | | | - | | 4,048 |
| 流動負債計 | | | 4,719,058 | | 5,697,319 |
| 固定負債 | | | | | |
| 時効後支払損引当金 | | | 1,622 | | 197 |
| 退職給付引当金 | | | 600,694 | | 602,458 |
| 役員退職慰労引当金 | | | 195,240 | | 143,410 |
| 繰延税金負債 | | | - | | 105,737 |
| 固定負債計 | | | 797,556 | | 851,802 |
| 負債合計 | | | 5,516,615 | | 6,549,121 |
| (純資産の部) | | | | | |
| 株主資本 | | | | | |
| 資本金 | | | 2,680,000 | | 2,680,000 |
| 資本剰余金 | | | 670,000 | | 670,000 |
| 資本準備金 | | 670,000 | | 670,000 | |
| 利益剰余金 | | | 82,965,637 | | 87,954,771 |
| その他利益剰余金 | | 82,965,637 | | 87,954,771 | |
| 繰越利益剰余金 | | 82,965,637 | | 87,954,771 | |
| 自己株式 | | | 50,310 | | 28,629,561 |
| 株主資本合計 | | | 86,265,326 | | 62,675,209 |
| 評価・換算差額等 | | | | | |
| その他有価証券評 価差額金 | | | 169,338 | | 651,669 |
| 繰延ヘッジ損益 | | | - | | 77,103 |
| 評価・換算差額等合計 | | | 169,338 | | 574,565 |
| 純資産合計 | | | 86,434,665 | | 63,249,775 |
| 負債・純資産合計 | | | 91,951,280 | | 69,798,897 |

(2)損益計算書

| 区分 | 注記 番号 | 第17期 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成26年 3 月31日 | | 第18期 自 平成26年 4 月 1 日 至 平成27年 3 月31日 | |
|-----------|----------|---|------------|---|------------|
| | | 金額（千円） | | 金額（千円） | |
| 営業収益 | | | | | |
| 委託者報酬 | | | 36,005,743 | | 35,628,732 |
| 投資顧問料 | | | 797,798 | | 618,156 |
| 営業収益計 | | | 36,803,541 | | 36,246,888 |
| 営業費用 | | | | | |
| 支払手数料 | | | 14,353,026 | | 14,804,786 |
| 広告宣伝費 | | | 418,056 | | 121,935 |
| 公告費 | | | 5,369 | | 1,711 |
| 調査費 | | | 4,969,935 | | 5,119,269 |
| 調査費 | | 697,463 | | 726,745 | |
| 委託調査費 | | 4,272,471 | | 4,392,523 | |
| 委託計算費 | | | 405,651 | | 438,072 |
| 営業雑経費 | | | 673,061 | | 624,644 |
| 通信費 | | 120,866 | | 106,229 | |
| 印刷費 | | 519,008 | | 488,455 | |
| 協会費 | | 24,375 | | 21,965 | |
| 諸会費 | | 4,064 | | 3,718 | |
| 諸経費 | | 4,746 | | 4,275 | |
| 営業費用計 | | | 20,825,101 | | 21,110,418 |
| 一般管理費 | | | | | |
| 給料 | | | 3,358,976 | | 3,331,511 |
| 役員報酬 | | 222,474 | | 217,933 | |
| 給与・手当 | | 2,817,356 | | 2,800,715 | |
| 賞与 | | 319,145 | | 312,862 | |
| 賞与引当金繰入 | | | 380,988 | | 423,492 |
| 役員賞与引当金繰入 | | | 47,770 | | 35,098 |
| 福利厚生費 | | | 519,682 | | 523,204 |
| 交際費 | | | 35,169 | | 20,236 |
| 旅費交通費 | | | 219,798 | | 138,386 |
| 租税公課 | | | 95,459 | | 98,273 |

| 区分 | 注記 番号 | 第17期 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成26年 3 月31日 | | 第18期 自 平成26年 4 月 1 日 至 平成27年 3 月31日 | |
|------------------|----------|---|-----------|---|-----------|
| | | 金額（千円） | | 金額（千円） | |
| 不動産賃借料 | | | 592,877 | | 605,279 |
| 退職給付費用 | | | 241,032 | | 220,937 |
| 役員退職慰労引当金 繰入 | | | 45,980 | | 48,390 |
| 固定資産減価償却費 | | | 587,330 | | 554,536 |
| 諸経費 | | | 1,579,964 | | 1,458,948 |
| 一般管理費計 | | | 7,705,029 | | 7,458,295 |
| 営業利益 | | | 8,273,410 | | 7,678,174 |
| 営業外収益 | | | | | |
| 受取配当金 | | | 9,501 | | 9,113 |
| 有価証券利息 | | | 324,053 | | 292,920 |
| 受取利息 | | | 727 | | 1,180 |
| 投資有価証券償還益 | | | 20,932 | | 45,653 |
| 投資有価証券売却益 | | | 134,549 | | - |
| 時効成立分配金・償 還金 | | | 3,068 | | 2,005 |
| その他 | | | 25,662 | | 24,262 |
| 営業外収益計 | | | 518,494 | | 375,134 |
| 営業外費用 | | | | | |
| その他 | | | 2,595 | | 3,018 |
| 営業外費用計 | | | 2,595 | | 3,018 |
| 経常利益 | | | 8,789,309 | | 8,050,291 |
| 特別利益 | | | | | |
| 投資有価証券償還益 | 1 | | 226,404 | | - |
| 投資有価証券売却益 | 2 | | 121,800 | | 35,182 |
| 特別利益計 | | | 348,204 | | 35,182 |
| 特別損失 | | | | | |
| 合併関連費用 | | | - | | 287,083 |
| 投資有価証券売却損 | | | - | | 2,774 |
| 投資有価証券評価減 | | | 42,622 | | 7,767 |
| ゴルフ会員権評価減 | | | - | | 8,300 |
| 特別損失計 | | | 42,622 | | 305,925 |
| 税引前当期純利益 | | | 9,094,890 | | 7,779,548 |
| 法人税、住民税 及び事業税 | | | 3,225,639 | | 2,849,003 |
| 法人税等調整額 | | | 53,478 | | 3,838 |
| 当期純利益 | | | 5,815,773 | | 4,926,705 |

(3)株主資本等変動計算書

第17期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | |
|-----------------------------|-----------|---------|-------------|---------------------|-------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金 合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金 合計 |
| 平成25年4月1日残高 | 2,680,000 | 670,000 | 670,000 | 82,474,853 | 82,474,853 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | - |
| 会計方針の変更を反映した当期首 残高 | 2,680,000 | 670,000 | 670,000 | 82,474,853 | 82,474,853 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | 5,324,989 | 5,324,989 |
| 当期純利益 | | | | 5,815,773 | 5,815,773 |
| 自己株式の取得 | | | | | |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の 変動額(純額) | | | | | |
| 事業年度中の変動額合計 | - | - | - | 490,783 | 490,783 |
| 平成26年3月31日残高 | 2,680,000 | 670,000 | 670,000 | 82,965,637 | 82,965,637 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | | 純資産合計 |
|-----------------------------|--------|------------|----------------------|-----------------|----------------|------------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有 価証券評 価差額金 | 繰延 ヘッジ 損益 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 平成25年4月1日残高 | 50,310 | 85,774,543 | 666,747 | - | 666,747 | 86,441,290 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | - | | | | - |
| 会計方針の変更を反映した当期首 残高 | 50,310 | 85,774,543 | 666,747 | - | 666,747 | 86,441,290 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | 5,324,989 | | | | 5,324,989 |
| 当期純利益 | | 5,815,773 | | | | 5,815,773 |
| 自己株式の取得 | - | - | | | | - |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の 変動額(純額) | | | 497,409 | - | 497,409 | 497,409 |
| 事業年度中の変動額合計 | - | 490,783 | 497,409 | - | 497,409 | 6,625 |
| 平成26年3月31日残高 | 50,310 | 86,265,326 | 169,338 | - | 169,338 | 86,434,665 |

第18期（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | |
|-----------------------------|-----------|---------|-------------|---------------------|-------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金 合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金 合計 |
| 平成26年4月1日残高 | 2,680,000 | 670,000 | 670,000 | 82,965,637 | 82,965,637 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | 62,427 | 62,427 |
| 会計方針の変更を反映した当期首 残高 | 2,680,000 | 670,000 | 670,000 | 83,028,065 | 83,028,065 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | - | - |
| 当期純利益 | | | | 4,926,705 | 4,926,705 |
| 自己株式の取得 | | | | | |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の 変動額(純額) | | | | | |
| 事業年度中の変動額合計 | - | - | - | 4,926,705 | 4,926,705 |
| 平成27年3月31日残高 | 2,680,000 | 670,000 | 670,000 | 87,954,771 | 87,954,771 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | | 純資産合計 |
|-----------------------------|------------|------------|----------------------|-----------------|----------------|------------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有 価証券評 価差額金 | 繰延 ヘッジ 損益 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 平成26年4月1日残高 | 50,310 | 86,265,326 | 169,338 | - | 169,338 | 86,434,665 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | 62,427 | | | | 62,427 |
| 会計方針の変更を反映した当期首 残高 | 50,310 | 86,327,754 | 169,338 | - | 169,338 | 86,497,093 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | - | | | | - |
| 当期純利益 | | 4,926,705 | | | | 4,926,705 |
| 自己株式の取得 | 28,579,250 | 28,579,250 | | | | 28,579,250 |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の 変動額(純額) | | | 482,330 | 77,103 | 405,227 | 405,227 |
| 事業年度中の変動額合計 | 28,579,250 | 23,652,545 | 482,330 | 77,103 | 405,227 | 23,247,317 |
| 平成27年3月31日残高 | 28,629,561 | 62,675,209 | 651,669 | 77,103 | 574,565 | 63,249,775 |

[注記事項]

（重要な会計方針）

1．有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定しております。）

時価のないもの

総平均法による原価法を採用しております。

2．デリバティブ等の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

3．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しております。主な耐用年数は以下のとおりであります。

| | |
|------|-------|
| 建物 | 8～50年 |
| 器具備品 | 3～15年 |

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

4．引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支払いに備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与の支払いに備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

(4) 時効後支払損引当金

負債計上を中止した未払収益分配金及び未払償還金について過去の支払実績に基づき計上しております。

(5) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(6) 役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当事業年度末における要支給額を計上しております。

5. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、当事業年度末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

6. 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。

7. ヘッジ会計の方法

(1) ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。

(2) ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段...株式指数先物

ヘッジ対象...投資有価証券

(3) ヘッジ方針

株価変動リスクの低減のため、対象資産の範囲内でヘッジを行っております。

(4) ヘッジの有効性評価の方法

ヘッジ開始から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象とヘッジ手段の相場変動の累計を比較し、両者の変動額等を基礎にして判断しております。

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当事業年度より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当事業年度の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当事業年度の期首の退職給付引当金が24,255千円減少、前払年金費用が72,743千円増加し、利益剰余金が62,427千円増加しております。前払年金費用は投資その他の資産の「その他」に含めております。また、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益に与える影響は軽微であります。なお、当事業年度の1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益に与える影響は軽微であります。

(表示方法の変更)

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「投資有価証券償還益」は、営業外収益の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた46,594千円は、「投資有価証券償還益」20,932千円、「その他」25,662千円として組み替えております。

（追加情報）

連結納税制度の適用

当社は、平成28年3月期より株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループを連結納税親会社とする連結納税制度の適用を受けます。このため、当事業年度末より、実務対応報告第5号「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い（その1）」（平成23年3月18日 企業会計基準委員会）及び実務対応報告第7号「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い（その2）」（平成22年6月30日 企業会計基準委員会）に基づき、連結納税制度の適用を前提とした会計処理を行っております。

（貸借対照表関係）

| 第17期 （平成26年3月31日現在） | 第18期 （平成27年3月31日現在） | | | | | | | | | | | | |
|---|------------------------|-----------|------|-----------|---|--------|-----------|---------|----------|----|-----------|------|-----------|
| <p>2. 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>建物</td> <td>562,983千円</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>594,582千円</td> </tr> </table> | 建物 | 562,983千円 | 器具備品 | 594,582千円 | <p>1. 担保に供している資産は、次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>投資有価証券</td> <td>100,770千円</td> </tr> <tr> <td>先物取引証拠金</td> <td>89,447千円</td> </tr> </table> <p>なお、先物取引証拠金は、流動資産の「その他」に含めて表示しております。</p> <p>2. 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>建物</td> <td>587,858千円</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>654,914千円</td> </tr> </table> | 投資有価証券 | 100,770千円 | 先物取引証拠金 | 89,447千円 | 建物 | 587,858千円 | 器具備品 | 654,914千円 |
| 建物 | 562,983千円 | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 594,582千円 | | | | | | | | | | | | |
| 投資有価証券 | 100,770千円 | | | | | | | | | | | | |
| 先物取引証拠金 | 89,447千円 | | | | | | | | | | | | |
| 建物 | 587,858千円 | | | | | | | | | | | | |
| 器具備品 | 654,914千円 | | | | | | | | | | | | |

（損益計算書関係）

| 第17期 自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日 | 第18期 自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日 |
|--|-------------------------------------|
| <p>1. 特別利益に記載の投資有価証券償還益は、過去に減損処理を行った投資信託の受益権が償還されたことによるものであります。</p> <p>2. 特別利益に記載の投資有価証券売却益は、過去に減損処理を行った投資信託の受益権を解約したことによるものであります。</p> | <p>---</p> <p>---</p> |

（株主資本等変動計算書関係）

・第17期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数

（単位：株）

| | 当事業年度期首 株式数 | 当事業年度 増加株式数 | 当事業年度 減少株式数 | 当事業年度末 株式数 |
|---------------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 発行済株式 普通株式 | 12,998 | - | - | 12,998 |

2. 自己株式の種類及び株式数

(単位：株)

| | 当事業年度期首 株式数 | 当事業年度 増加株式数 | 当事業年度 減少株式数 | 当事業年度末 株式数 |
|--------------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 自己株式 普通株式 | 10 | - | - | 10 |

3. 配当に関する事項

(1) 配当金の支払額

| (決議) | 株式の 種類 | 配当金の 総額 | 1株当たり 配当額 | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-----------|------------|--------------|------------|------------|
| 平成25年6月25日 定時株主総会 | 普通 株式 | 5,324百万円 | 410,000円 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月26日 |

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの
当事業年度の配当は無配につき、該当事項はありません。

. 第18期（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数

(単位：株)

| | 当事業年度期首 株式数 | 当事業年度 増加株式数 | 当事業年度 減少株式数 | 当事業年度末 株式数 |
|---------------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 発行済株式 普通株式 | 12,998 | - | - | 12,998 |

2. 自己株式の種類及び株式数

(単位：株)

| | 当事業年度期首 株式数 | 当事業年度 増加株式数 | 当事業年度 減少株式数 | 当事業年度末 株式数 |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 自己株式 普通株式(注) | 10 | 4,282 | - | 4,293 |

(注)自己株式の増加は、平成26年6月25日の株主総会決議による自己株式の取得によるものです。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金の支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

| (決議) | 株式の 種類 | 配当の 原資 | 配当金の 総額 | 1株当たり 配当額 | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-----------|-----------|------------|--------------|------------|------------|
| 平成27年6月30日 定時株主総会 | 普通 株式 | 利益 剰余金 | 19,500百万円 | 2,240,051円 | 平成27年3月31日 | 平成27年6月30日 |

（リース取引関係）

| 第17期 (平成26年3月31日現在) | 第18期 (平成27年3月31日現在) |
|---|---|
| 借主側 オペレーティング・リース取引 オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料 | 借主側 オペレーティング・リース取引 オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料 |
| 1年内 474,236千円 | 1年内 2,160千円 |
| 1年超 8,820千円 | 1年超 6,480千円 |
| 合計 483,056千円 | 合計 8,640千円 |

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社の資金運用は安全性の高い金融資産を中心に行っております。デリバティブ取引は、後述するリスクを回避するために利用しており、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

預金は、銀行の信用リスクに晒されていますが数行に分散して預入れており、リスクの軽減を図っております。有価証券及び投資有価証券は、主として国内債券及び投資信託であります。有価証券及び投資有価証券は、価格変動リスク、金利変動リスク等の市場リスクに晒されておりますが、定期的に時価や発行体等の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。なお、一部の投資信託の価格変動リスクに対して、デリバティブ取引を利用してヘッジしております。営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から当社に対して支払われる信託報酬の未収金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクは僅少となっております。デリバティブ取引は、信用リスク及び市場リスクに晒されておりますが、取引相手先は高格付を有する金融機関に限定しています。また、管理規定に従い権限者の承認を得て執行・管理を行っており、定期的に経営に報告しております。

(3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。また、注記事項「デリバティブ取引関係」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

第17期（平成26年3月31日現在）

（単位：千円）

| | 貸借対照表 計上額 | 時価 | 差額 |
|------------------|--------------|------------|----|
| (1) 預金 | 3,954,210 | 3,954,210 | - |
| (2) 有価証券及び投資有価証券 | | | |
| 其他有価証券 | 81,610,860 | 81,610,860 | - |
| (3) 未収委託者報酬 | 2,977,222 | 2,977,222 | - |
| 資産計 | 88,542,293 | 88,542,293 | - |
| (1) 未払手数料 | 1,253,078 | 1,253,078 | - |
| (2) 未払法人税等 | 1,743,743 | 1,743,743 | - |
| 負債計 | 2,996,821 | 2,996,821 | - |

第18期（平成27年3月31日現在）

（単位：千円）

| | 貸借対照表 計上額 | 時価 | 差額 |
|------------------|--------------|------------|----|
| (1) 預金 | 6,326,139 | 6,326,139 | - |
| (2) 有価証券及び投資有価証券 | | | |
| 其他有価証券 | 56,678,713 | 56,678,713 | - |
| (3) 未収委託者報酬 | 3,472,417 | 3,472,417 | - |
| 資産計 | 66,477,270 | 66,477,270 | - |
| (1) 未払手数料 | 1,521,415 | 1,521,415 | - |
| (2) 未払法人税等 | 1,626,371 | 1,626,371 | - |
| 負債計 | 3,147,786 | 3,147,786 | - |
| デリバティブ取引 | (4,048) | (4,048) | - |

デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については()で表示しております。

(注1)

金融商品の時価の算定方法並びに有価証券取引及びデリバティブ取引に関する事項

資産

(1) 預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券及び投資有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、債券は価格情報会社の提供する価格によっております。なお、投資信託については、公表されている基準価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する事項については、注記事項「有価証券関係」をご参照ください。

(3) 未収委託者報酬

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

負債**(1) 未払手数料**

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 未払法人税等

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

デリバティブ取引

注記事項「デリバティブ取引関係」をご参照下さい。

(注2)

時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

| 区分 | 第17期 (平成26年3月31日現在) | 第18期 (平成27年3月31日現在) |
|-----------|------------------------|------------------------|
| 非上場株式(*1) | 130,830 | 130,830 |

(*1) 非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価評価しておりません。

(注3)

金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第17期（平成26年3月31日現在）

(単位：千円)

| 区分 | 1年以内 | 1年超 3年以内 | 3年超 5年以内 |
|----------------------|------------|-------------|-------------|
| 預金 | 3,954,210 | - | - |
| 有価証券及び投資有価証券 | | | |
| 其他有価証券のうち満期があるもの(債券) | | | |
| (1) 国債 | 11,700,000 | 20,300,000 | 12,000,000 |
| (2) 社債 | 2,400,000 | 1,500,000 | 700,000 |
| (3) その他 | 6,050,000 | 12,300,000 | 5,500,000 |
| 未収委託者報酬 | 2,977,222 | - | - |
| 合計 | 27,081,432 | 34,100,000 | 18,200,000 |

第18期（平成27年3月31日現在）

(単位：千円)

| 区分 | 1年以内 | 1年超 3年以内 | 3年超 5年以内 |
|----------------------|------------|-------------|-------------|
| 預金 | 6,326,139 | - | - |
| 有価証券及び投資有価証券 | | | |
| 其他有価証券のうち満期があるもの(債券) | | | |
| (1) 国債 | 7,300,000 | 13,000,000 | 7,800,000 |
| (2) 社債 | - | 2,200,000 | 1,200,000 |
| (3) その他 | 4,900,000 | 6,700,000 | 2,500,000 |
| 未収委託者報酬 | 3,472,417 | - | - |
| 合計 | 21,998,556 | 21,900,000 | 11,500,000 |

(有価証券関係)

. 第17期（平成26年3月31日現在）

1. その他有価証券

(単位：千円)

| | 種類 | 貸借対照表 計上額 | 取得原価 | 差額 |
|------------------------------|---------|--------------|------------|---------|
| 貸借対照表計上 額が取得原価を 超えるもの | (1) 株式 | 131,964 | 30,541 | 101,422 |
| | (2) 債券 | | | |
| | 国債 | 39,577,933 | 39,511,949 | 65,983 |
| | 社債 | 3,964,648 | 3,962,232 | 2,415 |
| | その他 | 17,508,558 | 17,489,629 | 18,928 |
| | (3) その他 | 5,147,004 | 4,945,207 | 201,797 |
| | 小計 | 66,330,108 | 65,939,561 | 390,546 |
| 貸借対照表計上 額が取得原価を 超えないもの | (1) 株式 | - | - | - |
| | (2) 債券 | | | |
| | 国債 | 4,612,544 | 4,613,998 | 1,454 |
| | 社債 | 702,338 | 702,452 | 114 |
| | その他 | 6,411,894 | 6,419,144 | 7,250 |
| | (3) その他 | 3,553,976 | 3,684,180 | 130,204 |
| | 小計 | 15,280,752 | 15,419,775 | 139,023 |
| 合計 | | 81,610,860 | 81,359,337 | 251,522 |

(注1) 取得原価は減損処理後の金額で記載しております。その他有価証券で時価のあるものについて42,622千円減損処理を行っております。なお、事業年度末の時価が取得原価に比べて50%以上下落した銘柄についてはすべて、30%以上50%未満下落した銘柄については回復可能性があると思われるものを除き、減損処理を行うこととしております。

(注2) 非上場株式（貸借対照表計上額130,830千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難であると認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

2. 当事業年度中に売却したその他有価証券（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

(単位：千円)

| 種類 | 売却額 | 売却益の合計額 | 売却損の合計額 |
|---------|-----------|---------|---------|
| (1) 株式 | - | - | - |
| (2) 債券 | | | |
| 国債 | - | - | - |
| 社債 | - | - | - |
| その他 | - | - | - |
| (3) その他 | 1,393,219 | 256,349 | - |
| 合計 | 1,393,219 | 256,349 | - |

・第18期（平成27年3月31日現在）

1. その他有価証券

（単位：千円）

| | 種類 | 貸借対照表 計上額 | 取得原価 | 差額 |
|------------------------------|------------|--------------|------------|-----------|
| 貸借対照表計上 額が取得原価を 超えるもの | (1) 株式 | 153,418 | 30,541 | 122,876 |
| | (2) 債券 | | | |
| | 国債 | 23,393,530 | 23,352,168 | 41,361 |
| | 社債 | 2,236,987 | 2,234,923 | 2,063 |
| | その他 | 11,218,449 | 11,212,260 | 6,188 |
| | (3) その他 | 9,291,789 | 8,386,112 | 905,676 |
| | 小計 | 46,294,173 | 45,216,006 | 1,078,166 |
| 貸借対照表計上 額が取得原価を 超えないもの | (1) 株式 | - | - | - |
| | (2) 債券 | | | |
| | 国債 | 4,813,880 | 4,829,869 | 15,989 |
| | 社債 | 1,206,456 | 1,211,508 | 5,052 |
| | その他 | 2,897,915 | 2,904,312 | 6,397 |
| | (3) その他 | 1,466,289 | 1,563,529 | 97,239 |
| | 小計 | 10,384,540 | 10,509,219 | 124,678 |
| 合計 | 56,678,713 | 55,725,226 | 953,487 | |

（注1）取得原価は減損処理後の金額で記載しております。その他有価証券で時価のあるものについて7,767千円減損処理を行っております。なお、事業年度末の時価が取得原価に比べて50%以上下落した銘柄についてはすべて、30%以上50%未満下落した銘柄については回復可能性があるものと認められるものを除き、減損処理を行うこととしております。

（注2）非上場株式（貸借対照表計上額130,830千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難であると認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

2. 当事業年度中に売却したその他有価証券（自平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

（単位：千円）

| 種類 | 売却額 | 売却益の合計額 | 売却損の合計額 |
|---------|------------|---------|---------|
| (1) 株式 | - | - | - |
| (2) 債券 | | | |
| 国債 | 14,044,230 | 29,133 | 131 |
| 社債 | 1,318,265 | - | 1,677 |
| その他 | 7,311,009 | 6,049 | 965 |
| (3) その他 | 231,301 | 13,113 | - |
| 合計 | 22,904,805 | 48,295 | 2,774 |

（デリバティブ取引関係）

・第17期（平成26年3月31日現在）

該当事項はありません。

・第18期（平成27年3月31日現在）

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

該当事項はありません。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

（単位：千円）

| ヘッジ会計の方法 | 取引の種類 | 主なヘッジ対象 | 契約額等 | 契約額等のうち 1年超 | 時価 |
|-------------|----------------|---------|-----------|----------------|-------|
| 原則的処理 方法 | 株式指数先物取引 売建 | 投資有価証券 | 1,089,902 | - | 4,048 |
| 合計 | | | 1,089,902 | - | 4,048 |

（注）時価の算定方法

大阪取引所が定める清算指数によっております。

（税効果会計関係）

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

| | 第17期 （平成26年3月31日現在） | 第18期 （平成27年3月31日現在） |
|---------------|------------------------|------------------------|
| 繰延税金資産 | | |
| 投資有価証券評価減 | 65,219千円 | 2,517千円 |
| ゴルフ会員権評価減 | 50,925 | - |
| 賞与引当金 | 138,906 | 140,672 |
| 退職給付引当金 | 132,184 | 57,949 |
| 役員退職慰労引当金 | 69,583 | 46,378 |
| 時効後支払損引当金 | 578 | 63 |
| 事業税及び事業所税 | 119,223 | 117,958 |
| 減損損失 | 304,537 | 34,784 |
| 連結納税適用に伴う時価評価 | - | 360,922 |
| 繰延ヘッジ損益 | - | 36,853 |
| その他 | 120,008 | 200,935 |
| 繰延税金資産小計 | 1,001,167 | 999,036 |
| 評価性引当額 | 445,916 | 421,185 |
| 繰延税金資産合計 | 555,251 | 577,850 |
| 繰延税金負債 | | |
| 未収配当金 | 1,107 | 1,433 |
| 連結納税適用に伴う時価評価 | - | 23,829 |
| その他有価証券評価差額金 | 82,184 | 301,818 |
| 繰延税金負債合計 | 83,292 | 327,080 |
| 差引：繰延税金資産の純額 | 471,958 | 250,769 |

- 2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳
 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

3．法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

平成27年3月31日に「所得税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第9号）及び「地方税法等の一部を改正する法律（平成27年法律第2号）が公布され、平成27年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等が変更となりました。これに伴い、平成27年4月1日に開始する事業年度において解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率が従来の35.64%から33.10%に、平成28年4月1日に開始する事業年度以降において解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率が従来の35.64%から32.34%に変更になります。

なお、この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は16,567千円減少し、法人税等調整額は43,560千円増加しております。

（退職給付関係）

・第17期（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

1．採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度であります。）及び退職一時金制度（非積立型制度であります。）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2．確定給付制度

（1）退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

| | |
|--------------|-------------|
| 退職給付債務の期首残高 | 2,493,252千円 |
| 勤務費用 | 179,146 |
| 利息費用 | 17,203 |
| 数理計算上の差異の発生額 | 80,171 |
| 退職給付の支払額 | 129,844 |
| 退職給付債務の期末残高 | 2,479,586 |

（2）年金資産の期首残高と期末残高の調整表

| | |
|--------------|-------------|
| 年金資産の期首残高 | 1,738,225千円 |
| 期待運用収益 | 31,288 |
| 数理計算上の差異の発生額 | 114,900 |
| 事業主からの拠出額 | 214,074 |
| 退職給付の支払額 | 75,507 |
| 年金資産の期末残高 | 2,022,980 |

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

| | |
|---------------------|-------------|
| 積立型制度の退職給付債務 | 1,821,243千円 |
| 年金資産 | 2,022,980 |
| | 201,737 |
| 非積立型制度の退職給付債務 | 658,343 |
| 未積立退職給付債務 | 456,605 |
| 未認識数理計算上の差異 | 85,718 |
| 貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | 370,887 |
| 退職給付引当金 | 600,694 |
| 前払年金費用 | 229,807 |
| 貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | 370,887 |

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

| | |
|-----------------|-----------|
| 勤務費用 | 179,146千円 |
| 利息費用 | 17,203 |
| 期待運用収益 | 31,288 |
| 数理計算上の差異の費用処理額 | 41,035 |
| 確定給付制度に係る退職給付費用 | 206,096 |

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

| | |
|--------|--------|
| 債券 | 56.2% |
| 株式 | 40.7% |
| 短期金融資産 | 3.1% |
| 合計 | 100.0% |

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率は現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

| | |
|-----------|-------|
| 割引率 | 0.82% |
| 長期期待運用収益率 | 1.8% |

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、34,935千円であります。

・第18期（自平成26年4月1日至平成27年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度であります。）及び退職一時金制度（非積立型制度であります。）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

| | |
|------------------|-------------|
| 退職給付債務の期首残高 | 2,479,586千円 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | 96,998 |
| 会計方針の変更を反映した期首残高 | 2,382,588 |
| 勤務費用 | 175,427 |
| 利息費用 | 24,064 |
| 数理計算上の差異の発生額 | 281,917 |
| 退職給付の支払額 | 130,643 |
| 退職給付債務の期末残高 | 2,733,354 |

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

| | |
|--------------|-------------|
| 年金資産の期首残高 | 2,022,980千円 |
| 期待運用収益 | 36,413 |
| 数理計算上の差異の発生額 | 234,903 |
| 事業主からの拠出額 | 228,563 |
| 退職給付の支払額 | 79,899 |
| 年金資産の期末残高 | 2,442,961 |

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

| | |
|---------------------|-------------|
| 積立型制度の退職給付債務 | 2,075,771千円 |
| 年金資産 | 2,442,961 |
| | 367,190 |
| 非積立型制度の退職給付債務 | 657,583 |
| 未積立退職給付債務 | 290,392 |
| 未認識数理計算上の差異 | 111,204 |
| 貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | 179,187 |
| 退職給付引当金 | 602,458 |
| 前払年金費用 | 423,270 |
| 貸借対照表に計上された負債と資産の純額 | 179,187 |

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

| | |
|-----------------|-----------|
| 勤務費用 | 175,427千円 |
| 利息費用 | 24,064 |
| 期待運用収益 | 36,413 |
| 数理計算上の差異の費用処理額 | 21,528 |
| 確定給付制度に係る退職給付費用 | 184,606 |

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

| | |
|--------|-------|
| 債券 | 57.5% |
| 株式 | 39.2% |
| 短期金融資産 | 3.3% |
| 合計 | 100% |

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率は現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

| | |
|-----------|-------|
| 割引率 | 1.01% |
| 長期期待運用収益率 | 1.8% |

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、36,330千円であります。

(セグメント情報等)

第17期

自 平成25年4月1日

至 平成26年3月31日

セグメント情報

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、投資運用業における営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

当社は、本邦における営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当社は、本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

第18期

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日

セグメント情報

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、投資運用業における営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

当社は、本邦における営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当社は、本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

. 第17期 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

1 . 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金 | 事業の内容 | 議決権等の所有(被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 | 科目 | 期末残高 |
|-------------|-------------------------------|-----------------|-----------|-----------------|----------------|--|---|-----------------|-----------|---------------|
| 同一の親会社を持つ会社 | 三菱UFJ モルガン・スタンレー 証券株式会社 | 東京都 千代田 区 | 405 億円 | 金融商 品取引 業 | なし | 当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等 役員の兼任 | 投資信託 に係る事 務代行手 数料の支 払 (注1) | 3,380,996 千円 | 未払 手数料 | 603,222 千円 |

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注 1) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

(注 2) 上記金額のうち、取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

2 . 親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(東京証券取引所、名古屋証券取引所、及び
ニューヨーク証券取引所に上場)

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社(非上場)

. 第18期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

1 . 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の主要株主等

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金 | 事業の内容 | 議決権等の所有(被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 | 科目 | 期末残高 |
|------|---------------------|-----------------|-----------|---------------------|---------------------|-------------|-------------|-----------------|----|------|
| 主要株主 | 株式会社 野村総合 研究所 | 東京都 千代田 区 | 186 億円 | 金融ITソ リユー ション | 被所有 直接 10.78% | 自己株式の 取得 | 自己株式 の取得 | 9,337,933 千円 | - | - |

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注 1) 自己株式の取得価格は、第三者による評価を勘案して決定しております。

(注 2) 当社は株式会社野村総合研究所から、当事業年度中に同社保有の当社株式全部を自己株式として取得しております。これにより、同社は当社の関連当事者ではなくなりました。なお、議決権等の所有割合については、関連当事者でなくなる前の割合を記載しております。

(2) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等

| 種類 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金 | 事業の内容 | 議決権等の所有(被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 | 科目 | 期末残高 |
|-------------|-------------------------------|-----------------|-----------|-----------------|----------------|--|---|-----------------|-----------|---------------|
| 同一の親会社を持つ会社 | 三菱UFJ モルガン・スタンレー 証券株式会社 | 東京都 千代田 区 | 405 億円 | 金融商 品取引 業 | なし | 当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等 役員の兼任 | 投資信託 に係る事 務代行手 数料の支 払 (注1) | 3,353,765 千円 | 未払 手数料 | 508,801 千円 |

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

(注2) 上記金額のうち、取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

2. 親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所、及び
ニューヨーク証券取引所に上場）

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社（非上場）

(1 株当たり情報)

| 第17期 自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日 | | 第18期 自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日 | |
|---|---------------|---|---------------|
| 1株当たり純資産額 | 6,655,076円17銭 | 1株当たり純資産額 | 7,265,779円78銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 447,788円11銭 | 1株当たり当期純利益 | 462,833円96銭 |
| なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。 | | なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。 | |
| 1株当たり当期純利益の算定上の基礎 | | 1株当たり当期純利益の算定上の基礎 | |
| 損益計算書上の当期純利益 | 5,815,773千円 | 損益計算書上の当期純利益 | 4,926,705千円 |
| 普通株式に係る当期純利益 | 5,815,773千円 | 普通株式に係る当期純利益 | 4,926,705千円 |
| 普通株主に帰属しない金額の主な内訳 | - 千円 | 普通株主に帰属しない金額の主な内訳 | - 千円 |
| 普通株式の期中平均株式数 | 12,987株 | 普通株式の期中平均株式数 | 10,644株 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要 該当事項はありません。 | | 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要 該当事項はありません。 | |

（重要な後発事象）

（当社と三菱UFJ投信株式会社との合併について）

当社と三菱UFJ投信株式会社は、平成27年4月30日に、合併の効力発生日を平成27年7月1日とする合併契約を締結いたしました。当該合併の効力は、平成27年6月開催の株主総会における承認を経て発生する予定です。

1．合併の目的

両投信会社の商品・販売チャネルの補完性を活かすとともに、更なる運用力の強化と経営の効率化を図り、お客様の中長期の資産形成に資する、より良質で付加価値の高い資産運用サービスを提供できる体制を構築することを目的としております。

2．合併の方法及び合併契約の要旨

（1）合併効力発生日

平成27年7月1日

（2）合併の方法

三菱UFJ投信株式会社を存続会社とし、当社を消滅会社とする、吸収合併方式により合併いたします。

（3）合併後の社名（商号）

三菱UFJ国際投信株式会社

（4）合併比率

当社の普通株式1株につき、三菱UFJ投信株式会社の普通株式10.0497株の割合をもって割当交付いたします。

3．合併の相手会社の概要

| | |
|-----------|-------------|
| 商号 | 三菱UFJ投信株式会社 |
| 設立年月 | 昭和60年8月 |
| 本社所在地 | 東京都千代田区 |
| 代表者 | 取締役社長 金上 孝 |
| 資本金（注1） | 20億円 |
| 営業収益（注2） | 536.6億円 |
| 当期純利益（注2） | 67.3億円 |
| 資産（注1） | 649.6億円 |
| 負債（注1） | 100.1億円 |
| 純資産（注1） | 549.4億円 |
| 従業員数（注3） | 433名 |

（注1）平成26年3月31日現在です。

（注2）平成26年3月期（自平成25年4月1日至平成26年3月31日）です。

（注3）平成27年3月31日現在です。

（有価証券の売却について）

当社は、保有資産の有効活用を図るため、保有する有価証券の全部及び投資有価証券の一部を、平成27年5月14日までに売却いたしました。

平成28年3月期において、これに伴う売却益61,596千円を特別利益として、売却損26,222千円を特別損失として計上する予定です。

第2【その他の関係法人の概況】

「第三部 委託会社等の情報 第2 その他の関係法人の概況」については、以下の内容に全文を訂正いたします。

<訂正後>

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

| 名称 | 資本金の額（百万円） 平成28年3月末現在 | 事業の内容 |
|---------------|--------------------------|--|
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 324,279 | 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法。以下同じ。）に基づき信託業務を営んでいます。 |

<再信託受託会社の概要>（平成28年3月末現在）

名称：日本マスタートラスト信託銀行株式会社

資本金：10,000百万円

事業の内容：銀行法に基づき銀行業を営むとともに、兼営法に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

| 名称 | 資本金の額 （平成28年3月末現在） | 事業の内容 |
|---------------|-----------------------|-------------------------------|
| カブドットコム証券株式会社 | 7,196百万円 | 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |
| 株式会社SBI証券 | 47,937百万円 | 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |
| 高木証券株式会社 | 11,069百万円 | 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |
| 大万証券株式会社 | 300百万円 | 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |
| 楽天証券株式会社 | 7,495百万円 | 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |
| 松阪証券株式会社 | 100百万円 | 金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。 |

2【関係業務の概要】

(1) 受託会社

ファンドの財産の保管および管理等を行います。

(2) 販売会社

受益権の募集の取扱い、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、一部解約金および償還金の支払いの取扱い等を行います。

3【資本関係】

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。(平成28年9月末現在)

三菱UFJ信託銀行株式会社は委託会社の株式の50.97%(107,855株)を所有しています。

(注)関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

独立監査人の監査報告書

平成28年11月9日

三菱UFJ国際投信株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松村 洋季 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 宮田 八郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている米国高利回り社債・ブラジル・リアルファンド（毎月決算型）の平成28年3月25日から平成28年9月26日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、米国高利回り社債・ブラジル・リアルファンド（毎月決算型）の平成28年9月26日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、当社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成28年6月28日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

| | | |
|--------------------|--------------|---|
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 弥永 めぐみ | 印 |
|--------------------|--------------|---|

| | | |
|--------------------|-------------|---|
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 山田 信之 | 印 |
|--------------------|-------------|---|

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ国際投信株式会社（旧社名：三菱UFJ投信株式会社）の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第31期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJ国際投信株式会社の平成28年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。